

# 電管協会報

一般  
社団法人

沖縄県電気管工事業協会

<http://www.denkankyo.or.jp/>  
E-mail: [info@denkankyo.or.jp](mailto:info@denkankyo.or.jp)

## ■会長対談シリーズ

沖縄防衛局調達部 上谷康晴部長

「持続可能な業界発展と地元企業参画の展望」

## ■企画特集

令和8年新年賀詞交歓会

第7回おきなわ建設フェスタ



那覇市 大名市営住宅（B・C棟）

2026  
第86号  
2月

# 目次 CONTENTS

## 新春を迎えて

- 一般社団法人 沖縄県電気管工事業協会会長 仲田 一郎…… 2  
沖縄県知事 玉城 デニー…………… 3  
内閣府 沖縄総合事務局次長 逢坂 謙志…………… 4  
那覇市長 知念覚…………… 5  
一般社団法人 日本電設工業協会会長 文挾 誠…… 6  
一般社団法人 日本空調衛生工事業協会会長 藤澤 一郎…… 7

## 視 点

(株)りゅうぎん総合研究所代表取締役社長 渡久地 卓  
沖縄県における官民連携事業の機運醸成について…… 8  
～りゅうぎん総合研究所の官民連携における「脱ざる経済」への取り組み～

## 会長対談シリーズ(51)

沖縄防衛局調達部長 上谷康晴……………10  
「持続可能な業界発展と地元企業参画の展望」

## 企画特集

令和8年新年賀詞交歓会……………16  
第7回おきなわ建設フェスタ……………19

## 話 題

会員企業が各種表彰に輝く……………20  
25年秋の叙勲・褒章(小波津氏・仲田氏)……………21  
平和祈念公園で清掃活動……………22  
県総合運動公園で清掃活動……………23  
福祉団体らに寄付……………24

## 協会の動き

県と庁舎大規模改修で意見交換会……………25  
沖縄総合事務局と適正工期などで意見交換会……………26  
県土木建築部と労務単価課題などで意見交換会……………27  
工業高校教諭と新規入職者促進へ意見交換会……………28  
沖縄防衛局の入札・契約説明会……………29  
南部工業高校で職業講話……………30  
美里工業生が琉球銀行本店ビルで現場見学会……………31  
3D-CAD講習会／公共事業労務費調査説明会……………32  
第43回安全衛生大会……………33  
電管協創立70周年事業で台湾視察……………34  
2026年度沖縄振興予算案(中央官庁の動き)……………35  
理事会次第……………36  
各委員会活動状況……………38  
電管グリーン……………40  
運営機構図……………42  
役員名簿……………43

## 正会員・賛助会員名簿

正会員・賛助会員名簿……………44  
事務局日誌……………52  
賛助会員を活用しよう……………54



那覇市 大名市営住宅 (B・C棟)

那覇市首里大名町で整備を進めてきた大名市営住宅のB棟、C棟。建物は昨年完成し、現在は外構工事が最終段階に入っている。今年3月からは段階的に入居を開始する予定。

建物規模は、B棟がRC造9階建、延床面積3,412㎡で、48戸のI字型。C棟はRC造9階建て、延床面積4,141㎡で、55戸のI字型。

大名市営住宅は4期計画で建て替え事業を進めてきた。今回の完成により、全636戸の整備が完了。今後は、建て替えによって創出した約8,000㎡の余剰地について、有効活用を目指した検討が進められる。

## 大名市営住宅第4期建替工事

### 【主な施工・設計業者】

#### 【B棟】

電気：照屋電気工事(株)・沖電水工事(株)・  
株マテックスJV  
機械：ヤシマ工業(株)・(有)サン冷熱・  
株永山組JV  
建築：株野原建設・株正吉建設・  
株IMICORPORATIONJV

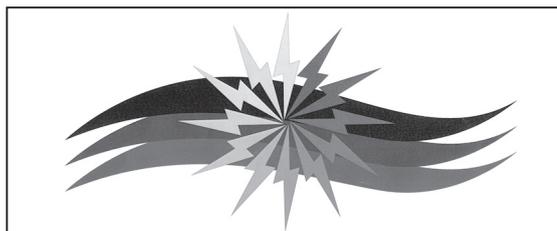
#### 【C棟】

電気：大和電工(株)・株山川電気・  
株カイ総合設備JV  
機械：泉水設備(株)・株太閤建設・  
南光開発(株)JV  
建築：株東恩納組・株金城組・  
株平川建設JV

#### 【実施設計】

株泉設計・株環境設計国建JV

## 協会章



DENKAN

電気と水・空気の流れをイメージの中に採り入れ、自然との調和が図形の基本をなしている。電気・管工事の相互関係の緊密性を流線的に表現することにより、相互の独自性と発展性につなげるモチーフが協会章の意図になっている。

# 令和7年度実践スローガン

1. 県内業者への優先発注拡大強化と設備工事の重要性をアピールし、分離発注の維持・拡大を促進しよう
2. 建設DXを推進するとともに、人材の育成を進め、生産性の向上を図ろう
3. 適正工期の確保と施工現場の4週8休の実現を目指し、働き方改革を進め、新4Kの実現により人材確保を図ろう
4. 脱炭素社会の実現とSDGsの達成に貢献しよう

## 電管協の案内

一般社団法人  
沖縄県電気管工事業協会  
(略称) 電管協

公共工事に入札参加資格を有する  
電気及び管工事業の団体

- 創 立：1955年(昭和30年)4月
- 会 員 数：141社(R7年12月末現在)
  - (電気)42社
  - (管)34社
  - (電気・管)43社
  - (賛助会員)22社
- 従 業 員 数：4,143名(R7年7月現在)
- 正会員年商：約850億円(R7年7月現在)

### 《主な加入団体》(R8年1月現在)

- (一社)日本空調衛生工事業協会(正会員)
- (一社)日本電設工業協会(正会員)
- (一社)日本空調衛生工事業協会九州沖縄支部(正会員)
- (一社)沖縄県建設産業団体連合会(正会員)
- (一社)沖縄県建設業協会(賛助会員)
- (一社)建築設備技術者協会(賛助会員)
- (一社)公共建築協会(賛助法人会員)
- 沖縄県職業能力開発協会(正会員)
- 沖縄受信環境クリーン協議会(準会員)
- (一社)沖縄県労働基準協会(正会員)
- (社福)沖縄県社会福祉協議会(第2種会員)
- (一財)沖縄県社会保険協会(正会員)
- (一財)労災サポートセンター(賛助会員)
- 沖縄県警察官友の会(維持会員)
- (公社)那覇法人会(正会員)
- (一社)日本電気協会沖縄支部(正会員)
- (公財)暴力団追放沖縄県民会議(賛助会員)

※(一社)：一般社団法人、(社福)：社会福祉法人、(一財)：一般財団法人、(公社)：公益社団法人、(公財)：公益財団法人

新春を迎えて



## 持続可能な電気・機械設備業界の 実現に向けて

一般社団法人 沖縄県電気管工事業協会  
会長 仲田 一郎

令和8年の新春を迎え謹んでご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

本協会は、昨年4月に創立70周年を迎え、更なる業界発展への決意を新たにいたしました。また、今後とも県経済の発展及び地域社会の安全、安心の推進に貢献できるよう協会活動を推進して参りますので、行政機関及び関係団体の皆様には引き続きご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

さて、令和6年元日に発生いたしました能登半島地震以降、能登地方や沖縄本島北部で発生した豪雨災害など自然災害が激甚化し、加えてインフラの老朽化に起因する事故も発生しており、その復旧支援や更新等、我々建設業界の果たす役割が益々重要になっております。さらに我々電気・機械設備業界は、被災地の生活インフラ整備の迅速な対応に加えて、脱炭素社会の実現など業界の使命と責任を再認識する契機となりました。

このような多大なる責務を担う中、資機材の

高騰、担い手不足、処遇改善、働き方改革、生産性向上等課題解決に向けて、国は第三次・担い手3法(改正)を公布し、昨年12月までに様々な関連法令が施行され、官民を挙げてこれまで以上の取り組みが求められております。

特に民間工事の「後工程」で影響を受ける電気・機械設備業界は、上部団体である(一社)日本電設工業協会と(一社)日本空調衛生工事業協会が共同で、元請となる建設業関連団体へ働き方改革の推進への要請活動を行っております。この活動は令和5年4月に始まり昨年末で3回目となり、国の関連法令の施行に合わせて、「適正工期の確保及び工程の遵守」「長時間労働の是正」「対等な契約関係の構築」「適切な労働環境の確保」の主要項目に具体的な要請事項を追加しております。関係行政機関の皆様にも建設業全体の目標でもあります担い手確保、持続可能な建設業の実現に向けて、ご理解とご支援をお願い申し上げます。

結びに本年の県経済、県民生活が更に充実した年となりますよう祈念するとともに関係各位のご健勝をお祈り申し上げご挨拶といたします。

土木・建築・電設・管工事用資材の総合卸売商社



# 株式会社 安謝鑄物商事

代表取締役社長 仲宗根 重人



●本社	〒901-2104	沖縄県浦添市当山1丁目3番8号	TEL:098-873-1408	FAX:098-876-4555
●中部営業所	〒904-0011	沖縄県沖縄市照屋3丁目28-15	TEL:098-923-2128	FAX:098-923-5982
●北部営業所	〒905-1152	沖縄県名護市伊差川471-7	TEL:0980-54-8282	FAX:0980-53-0939
ホームページ	https://ajyaimono.co.jp		メール	: info@ajyaimono.co.jp

新春を迎えて



## 「安全・安心で幸福が実感できる島」 を支える社会資本整備

沖縄県知事 玉城 デニー

はいさい ぐすーよー いいそーぐわちでーびる。  
明けましておめでとうございます。  
令和8年の新春を迎え、謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。

一般社団法人沖縄県電気管工事業協会の会員の皆様におかれましては、沖縄県の土木建築行政の推進に御支援、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、建設業界の協力のもと、国や市町村など関係機関と連携し、各種施策の推進のほか、風水害や11月の企業局所管の導水管破損による被害への応急対策及び復旧に取り組むことができました。ご協力・ご尽力いただいた方々に心から感謝申し上げます。

さて、昨年は戦後80年の節目にあたり、県は平和記念事業として40の取り組みを全庁で推進し、平和を願う沖縄の思いを国内外へ発信しました。土木建築部関連では、4月には石垣空港が検疫飛行場指定を受け5年ぶりに国際線の定期運航が再開され、ゆいレールは開業以来の「月間乗車200万人」を達成することができました。復元工事が進む首里城では、6年ぶりに沖縄の青空の下に正殿が姿を現しました。

今年は、沖縄の象徴である首里城正殿がいよいよ完成いたします。正殿の完成は、首里城復興の大きな節目となることから、首里城に象徴される歴史と文化や沖縄の魅力を、国内外に向けて発信するなど、首里城の復旧・復興に取り組んでまいります。さらに、首里城周辺の歴史的景観を活かしたまちづくり、沖縄らしい風景づくりや良好な沿道景観の形成など、引き続き、関係機関と連携し進めてまいります。

また、策定5年目を迎える「新・沖縄21世紀ビジョ

ン基本計画」等を踏まえ、継続して取り組んでいる道路・空港・港湾・モノレールなど交通体系の整備、公営住宅・都市公園・下水道など生活基盤の整備、河川や海岸などにおける防災・減災対策に係る整備等を進め、「安全・安心で幸福が実感できる島」の実現に向け、基盤となる社会資本整備を全力で取り組んでまいります。

建設産業は、地域のインフラ施設等の整備や防災・減災、老朽化対策、メンテナンス等の担い手であると同時に、地域経済・雇用を支え、災害時には最前線で県民の安全・安心の確保を担う「地域の守り手」として「新時代沖縄」においても大きな役割を担っており経済基盤を支える重要な産業となっています。

沖縄県としましては、「地域の守り手」である建設産業がその役割を果たし続けられるよう第3次・担い手三法等を踏まえ、働き方改革の取り組みを進めながら、将来の担い手の確保を図るという課題に対応するため、建設業における労働者の健康確保対策や適切な賃金水準の確保、週休2日工事の推進を図ります。また、適正な工期設定に努めるとともに、ゼロ県債等を活用した施工時期の平準化やICT活用工事による生産性向上の推進、建設現場の遠隔臨場、建設産業の魅力発信に積極的に取り組んでまいりますので、引き続き皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

結びに、貴協会のますますの御発展と、会員の皆様の御健勝・御活躍を心から祈念申し上げ、御挨拶といたします。

太陽光・エアコン・キッチンのことなら！



# 新光産業株式会社

代表取締役社長 新里 正志



お問い合わせはホームページまたはお電話で



新春を迎えて



## 沖縄の持続的発展へ 社会資本を整備

沖縄総合事務局 次長 逢坂 謙志

新たな年を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

一般社団法人沖縄県電気管工事業協会の会員の皆様におかれましては、旧年中、沖縄総合事務局の推進する社会資本整備や各種施策にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

近年、能登半島地震をはじめ、自然災害が激甚化・頻発化しておりますが、沖縄においても昨年7月末の台風第8号に伴う大雨の影響により、北大東村において浸水、冠水被害が発生しました。北大東村からの要請を受け、災害支援のため、TEC-FORCE及び排水ポンプ車を派遣しました。沖縄総合事務局にとって初となる離島に対する支援活動となりましたが、支援活動に対応して頂いた建設業の皆様にはご尽力いただき心より感謝申し上げます。

沖縄総合事務局では、建設業に携わる皆様とともに、インフラ整備に取り組み、沖縄の産業振興や生活の質の向上に貢献してきました。引き続き「強い沖縄経済」を目指し、「沖縄の持続的発展」に向け、道路や港湾・空港、公園といったインフラ整備、並びに国の活動を支える庁舎等の整備に取り組んでまいります。

令和4年に着工した首里城正殿復元整備工事については、これまで復元工事中の正殿を風雨から保護するための覆いとなる「素屋根」の中で工事を進めておりましたが、昨年7月に正殿外観が完成し、10月30日に素屋根解体が完了したことで外から正殿外観をご覧いただけるようになっております。現在は、正殿内部での塗装・彩色及び両廊下などの整備を進めております。あわせて、正殿とともに焼失した北殿の復元整備に係る設計を進めてまいります。今後とも、関係機関と連携しながら、本年秋の正殿復元に向けて整備を推進してまいります。

皆様方と関わりの深い官庁営繕事業では、大規模災害の発生に備え、地域と連携した防災拠

点となる那覇第2地方合同庁舎（3号館）が令和6年に完成したところです。引き続き、安全・安心の確保のため、津波対策の推進及び設備機器の機能確保など官庁施設における総合的な防災対策を進めてまいります。また、既存官庁施設の老朽化が進む中、危険箇所の解消を図りながら計画的な改修を実施し、施設を長く安全に利用してトータルコストの縮減などにつながる老朽化対策を進めてまいります。

これらの事業に携わり、重要な役割を担う貴協会の皆様を取り巻く環境として、就業者の減少や高齢化、若年入職者の減少が顕在化しており、中長期的な担い手確保をはじめとする経営の安定化が喫緊の課題となっております。

沖縄総合事務局としても、これらの課題に対応し、建設業がより魅力的で働きやすい環境となるよう、第三次・担い手3法を踏まえ、長時間労働の是正や適正な賃金水準の確保、技能労働者の処遇改善等に取り組んでまいります。特に長時間労働の是正では、猛暑日も考慮し、より適正な工期設定となるよう取り組むとともに、令和7年度からは、「完全週休2日」の確保に向けた取組を進めております。

さらに、建築設備工事は、前工程の遅れによる工期のしわ寄せが長時間労働の主な原因となることから、官庁営繕事業の発注段階において、総合試運転調整に必要な期間を考慮した概成工期や受電の時期を設定するなどにより、適正な施工期間の確保を図ります。このほか、BIMの活用や工事関係書類の削減など官庁営繕事業における「働き方改革」の取組をパッケージ化して進めてまいります。

結びに、貴協会の更なる発展と、本年が、協会会員の皆様にとりまして希望に満ちた、飛躍の年となりますことを心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新春を迎えて



## 変化してゆく社会を支える、 設備業界

那覇市長 知念 覚

はいさい ぐすーよー いいそーぐわちでー  
びる。

新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

一般社団法人沖縄県電気管工事業協会の皆様におかれましては、日頃より本市のまちづくりに多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は多くの変化と出来事に満ちた年でありました。特に、世界的な注目を集めた大阪・関西万博が開催され、未来社会の在り方に対する幅広い議論と国際連携の機運が高まったことは記憶に新しいところでございます。また、日本史上初の女性総理大臣就任とともに「働き方改革」に改めて焦点が当たるなど、これからの社会に大きな変化をもたらす一年であったと感じております。

建設業界においても、労働人口の減少による人手不足が大きな課題となっておりますが、時間外労働の上限規制や完全週休2日制が導入されるなか、将来の担い手の確保、持続可能な建設業の実現に向けて、官民連携し課題解決に向けて取り組むことが求められております。

そうした状況の中、本市では引き続き「誰もが訪れたい、住み続けたいまち」の実現をめざしたまちづくりに取り組んでまいります。

本市の事業として令和4年度より建替工事を行ってまいりました那覇市立病院の新病棟が完成し、昨年10月に開院を迎えることができました。これからも市民の健康と未来を担う子どもたちの命を守り、地域医療のさらなる発展に貢献していくことを心から期待しております。今後も、旧病院棟の解体や跡地整備など事業はまだ続きますが、市立病院と協力し完了に向けて進めてまいります。

また、昨年は読売ジャイアンツの那覇春季キャンプが15回目となる節目の年でありました。毎年多くの観光客や県内外の野球ファンなどで賑わう春季キャンプ以外の時期にもスポーツやイベント等で活用され賑わいを生み出す施設整備を目的とした奥武山地域スポーツ観光交流拠点整備工事を予定しており、本市の魅力をより一層高め、観光客のみならず市民の皆様にとっても新しい交流の場の創出を目指します。

市営住宅建替事業につきましては、宇栄原、石嶺、真地の建替工事を着実に進め、市民の皆様にご快適に住み続けられる住環境の整備に取り組んでまいります。

その他の公共施設や学校施設につきましては、老朽化に伴う施設機能強化のための長寿命化改修工事や、照明器具のLED照明への更新事業、既設の和式トイレの洋式化事業などを推進してまいります。

また、これらの事業においては、DX化や環境問題の対応など、設備工事の重要性がより一層高まっており、皆様の高い技術力が必要不可欠となっております。

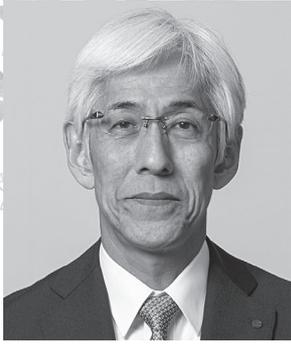
皆様におかれましては、本市のこれまで行ってきた事業にご尽力いただいたことに感謝するとともに、引き続き、本市事業の円滑な実施に向けて、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

本市といたしましても、これまでと同様、地元企業優先、分離・分割発注に努め、皆様方の発展に寄与してまいります。

末筆ながら、一般社団法人沖縄県電気管工事業協会のご繁栄と皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

くとうしむゆたさるぐどうう、うにげーさびら。

新春を迎えて



## 変化の時代に求められる電設業の役割 脱炭素対応、働き方改革、人材育成への取り組み

一般社団法人 日本電設工業協会  
会長 文挾 誠一

皆さま明けましておめでとうございます。謹んで新年の御挨拶を申し上げます。皆さまには当協会の活動に対し日頃から多大なご支援を賜り、この場を借りまして心から御礼申し上げます。

さて、我々、電設業は、いかなる状況下でも、社会生活を維持するために必要不可欠な職業であり、その従事者は、いわゆるエッセンシャルワーカーとして、AIには取って代わることができません。先の能登半島地震における活動のように、「災害発生時に、いち早く現場に駆け付け、電気の復旧を通して、被災地の生活を支え、早期の経済活動の回復にも貢献」しております。

また、2050年のカーボンニュートラルな社会の実現に向け、我々電設業界、電設技術に期待される役割は、増々大きくなってきております。

昨年を振り返りますと、データセンター、オフィスビルなどの旺盛な需要を背景に、会員の業績も堅調に推移していることに加え、お客さまのサービスに応える電設技術の貢献も非常に大きいものであったと認識しております。

昨年5月に大阪で開催したJECA FAIR 2025は、出展者数、小間数ともに大阪開催では過去最大規模で開催することができ、多くの来場者が、電設技術・製品の開発・進歩に触れ、電設業界の力強さや将来に魅力を感じていただけたものと思います。また、今回新しい試みとして、学生・学校関係者を取りまとめ、「JECA FAIR見学会」を開催する場合に、交通費の全額助成を行った結果、学生の来場は25校、708名でした。次世代を担う若手に仕事のやりがい、業界の魅力を知ってもらう良い機会となったと思っています。

昨年11月に広島で開催された会員大会において、第7回目となる働き方改革アンケート調査を報告致しました。その中で、「週休二日制」については、前回の調査では、現場従事者の月間休日取得の状況では、「4週6休」が52%と主流でしたが、2024年度には、時間外労働の上限規制や、業界としての働き方改革の取り組み進めたことなどから、月間の休日が二日増え「4週8休」が42%と主流となっ

てきております。しかしながら、「現場一斉閉所」を実施している企業はまだ27%にとどまっており、今後、更なる魅力ある電設業界へと進めるため、「土日、現場一斉閉所」に向けて活動を進めてまいります。また、各社の技術者の月平均・時間外労働（45時間以上）の割合は、通常期と繁忙期では大きく異なり、繁忙期になると45時間を超える現場技術者割合が一挙に多くなると報告されていますので、この点についての改善も進めていかなければなりません。

これらの課題を改善するため、昨年末には、前回同様、日本空調衛生工事業協会と共同で、「働き方改革の推進」について、元請となる建設業団体に対して申入れを行いました。会員におかれましては、「働き方改革の推進申入れ」活動の継続をお願い申し上げます。一方では、我々業界の会員企業においても、DXを利用した現場支援、いわゆるバックオフィスにより、クラウドやAIを使って情報共有・作業効率を高め、生産性を向上して頂くことが必要であります。

私は昨年一年で、9つある支部と意見交換をしました。共通する課題としては、担い手不足が深刻になっていることです。次世代への人材確保方策を強化する、特定技能外国人材を受け入れることができる環境整備をするなど、担い手確保に向けて業界の総力をあげて取り組む必要があると思っています。昨年の会員大会では、「働き方改革を深化させ、担い手確保に向けて、業界の総力をあげて取り組もう!」を決議しました。電設協としても、また、会長としても、先頭に立ち、実現に向けて、今後も最大限の努力を続けてまいります。

結びに、今年の干支は、「丙午（ひのえうま）」です。この組み合わせは「情熱と行動力で突き進む」といった縁起の良い意味を表しているそうです。干支にあやかり、本年が電設業界の新たな挑戦・開拓の年となり、更なる発展と会員企業の皆さまにとって満願成就の年となりますようお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

新春を迎えて



## 変動の時代を乗り越え、次の成長へ 空調衛生工事業が担う社会基盤の役割

一般社団法人 日本空調衛生工事業協会  
会長 藤澤 一郎

新年あけましておめでとうございます。日頃より日本空調衛生工事業協会の活動に対し、格別のご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。令和8年のはじまりにあたり、会員の皆様、関係各位のご健勝とさらなるご発展を心よりお祈り申し上げます。

昨年一年間を振り返りますと、国内外の情勢は依然として大きな変動にさらされました。1月には「アメリカ・ファースト」を掲げるトランプ政権が再始動し、就任直後からの関税措置により世界経済には不透明感が広がりました。9月の日米交渉妥結を経ても先行きはなお不安定で、日本の産業界にも影響が及んでおります。

4月に開幕した「大阪・関西万博」では、開幕当初の来場者数こそ伸び悩んだものの、その後は徐々に人気を高め、最終的には2,800万人を超える来場を記録し、全体として黒字を確保いたしました。一方で、一部外国パビリオンの工事遅延による未完成問題や工事費未払いなど、建設・設備業界として深い関心を寄せるべき課題も浮き彫りとなり、多くの教訓を残した一年でもありました。

政治の面では、7月の参議院選挙で与党が過半数を割り込み、石破総理が辞任を表明。総裁選の紆余曲折を経て、公明党が連立を離脱し、自民党と日本維新の会による高市内閣が発足いたしました。高市総理は高支持率を背景に順調なスタートを切りましたが、台湾情勢に関する国会答弁を契機に中国との関係が悪化し、国際環境の緊張感は依然として続いております。

一方で、明るい話題もありました。11月のデフリンピック東京大会では、日本選手の活躍が多くの感動を呼びました。科学分野では坂口氏の生理学・医学賞、北川氏の化学賞と、2名がノーベル賞を受賞する喜ばしい出来事が続きました。またMLBでは、大谷翔平選手がワールドシリーズ連覇と3年連続4度目のMVPという偉業を成し遂げ、日本のみならず世界中に希望と活力を届けてくれました。

国内では、例年を上回る猛暑により最高気温や猛暑日数が各地で更新されるなど、気候変動の影響

が一段と顕著になりました。秋には熊による被害が全国で発生し、工事現場においても新たな安全対策の必要性が浮き彫りとなった一年でした。

このように社会・経済環境が激しく変化する中で、建設業界も大きな転換期を迎えております。人手不足の深刻化、資材価格の高止まり、脱炭素社会に向けた要求の高まり、建築物の高機能化・省エネ化の加速など、空調衛生工事業に求められる役割は一層多様化・高度化しています。こうした環境において、品質確保と安全管理の両面で不断の努力を続けておられる会員企業の皆様に、改めて深甚なる敬意を表します。

当協会におきましては昨年、担い手確保に向けた長時間労働の是正、週休二日制・土日閉所の拡大、生産性向上に資するBIM・DXの活用力強化、カーボンニュートラル時代にふさわしい設備技術の普及など、多岐にわたる取り組みを進めてまいりました。特に若年技術者の確保・育成は業界の未来を左右する重要課題であり、本年も教育プログラムの充実や、働きやすい環境づくりに寄与する情報提供・支援を継続してまいります。

さらに、地震や風水害など自然災害が頻発する中で、社会インフラの安全性を支える設備業の使命はこれまで以上に重要性を増しております。本年は、レジリエンス強化に資する設備技術の開発・導入、維持管理の高度化、人材の専門性向上に努め、安心・安全な社会の実現により一層貢献してまいります。

令和8年はどのような年になるのでしょうか。空調衛生設備は人々の健康と快適性を支え、経済活動を下支えする「社会の基盤」です。その重要性は今後ますます高まってまいります。技術革新を積極的に取り入れ、新たな価値を創造し、業界一丸となって持続的な発展を実現してまいりましょう。

本年が会員の皆様にとりまして飛躍の年となりますよう心より祈念申し上げますとともに、引き続き当協会の事業へのご理解とご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

# 視点

## 沖縄県における官民連携事業の 機運醸成について

～りゅうぎん総合研究所の官民連携における「脱ざる経済」への取り組み～

(株)りゅうぎん総合研究所 代表取締役社長 渡久地 卓

### 【琉球銀行調査部の設置】

琉球銀行は1948年5月1日に米国軍政府布令第1号にもとづき、通貨発行権や金融機関の監督統括権などを持つ特殊銀行として設立されました。りゅうぎん総合研究所の前身である調査部は、復興いまだしの感があった当時の混沌たる金融・経済情勢について独自の調査を行う目的で創立当初から設置されました。米国軍政府の要請による物価動向の定期調査・報告、諸経済情勢の調査・研究など、当時においては唯一の公的な調査機関としての重要な役割を果たしていました。51年7月に「金融経済情報」を創刊しましたが、当時においては貴重な資料として内外より配布の要望が絶えなかったそうです。本誌は53年1月号から「金融経済」と改題し、その後「金融経済速報」「りゅうぎんニュース」「業界動向」と改題・統合を繰り返しながら、現在も毎月発行する経済情報誌「りゅうぎん調査」として引き継がれています。

### 【りゅうぎん総合研究所の設立】

りゅうぎん総合研究所は2006年6月に、銀行から経済調査業務を引き継ぐ形で設立されました。経済調査部署を独立させることで、調査業務の専門性と客観性を高めるとともに地域経済の調査・分析機能の強化を図るのが設立の目的でした。定例業務として毎月の県内景況を調査しメディアを通して公表しているほか、沖縄経済・地域社会の発展に寄与する内容のレポートも発信し、各種提言も行っています。毎月約1,650部発行する経済情報誌「りゅうぎん調査」は営業店の取引先や官公庁、経済団体などへ届け、情報サービスの提供を行っています。



### 【官民連携事業の背景】

英国など海外では、1990年代前半にPFI方式による公共サービスの提供が実施されており、有料橋、鉄道、病院、学校などの公共施設等の整備等、再開発などの分野で成果を収めてきました。我が国では、「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」が99年7月に制定され、2000年3月にPFIの理念とその実現のための方法を示す「基本方針」が民間資金等活用事業推進委員会の議を経て、内閣総理大臣によって策定されPFI事業の枠組みが設けられました。その後、県外では多くの官民連携事業での「まちづくり」が進んできました。

沖縄での官民連携事業が他の都道府県に比べあまり進まなかった背景には、沖縄振興特別措置法に基づく沖縄振興計画に掲げた各種施策を総合的かつ計画的に推進するため沖縄振興予算が設けられ、振興にかかるインフラ整備（道路や建物など）がなされてきたことや、米軍基地（自衛隊基地含む）を多く抱えていることに伴う沖縄防衛局からの予算もあり補助率の高い事業が基礎自治体単位で進めてこれたことも要因に挙げられます。

### 【県内における官民連携事業での「ざる経済」】

沖縄県も残念ながら2022年より人口減少に転

じました。沖縄県における直近の出生率も1.52と下降トレンドに入っており、今後加速度的に高齢化が進むこととなります。少子高齢化社会は労働人口の減少に直結することから、沖縄県や県内基礎自治体において「税収」が今後大きく減少していくものと想定されています。そのため、県内基礎自治体でも民間資金等を活用する事業が出来ないかとの機運が高まってきました。しかしながら現状では、基礎自治体職員の官民連携事業におけるノウハウ・知見が乏しいこともあり、大手コンサル会社が基礎自治体のコンサルに付くケースがほとんどです。結果、県内の官民連携事業では、県外大手企業を運営の中核とする共同企業体が設立するSPC（目的会社）が受注し、その資金も県外金融機関からの調達が多く見受けられます。沖縄は自給率が低く、県外や海外資本の企業も多いことから、よく「ざる経済」と例えられますが、今後減少するであろう貴重な県内の「税収」が、「基礎自治体から大手コンサル会社へ支払われ、また毎年のサービス料収入として県外企業を中心とするSPCへ渡り、県外金融機関へ返済資金として流れる」といった正に「ざる経済」となっている現状がここにもあります。

#### 【りゅうぎん総合研究所 地域デザイン部の設置】

りゅうぎん総合研究所では、官民連携事業における「ざる経済」を脱却するため基礎自治体向け官民連携事業のコンサルを行うことを目的に2024年11月に「地域デザイン部」を設置し、25年4月より本格稼働をさせました。担当職員は3人と少数ですが、それぞれ1年から1年半ほど県外大手コンサル会社へ出向させ、官民連携事業における知見や経験を踏まえたくて現

在県内基礎自治体からの受託を始めています。直ぐには事業化は出来ないものの、県内企業を中心とした企業体が受注し、その資金調達も県内金融機関からという流れを構築出来るよう取り組んでまいります。

#### 【基礎自治体職員や県内企業に求めること】

官民連携事業は「まちづくり」「まちの活性化」に繋がります。戦後80年、復帰から53年が経過し、公共施設やインフラ設備の老朽化に伴う建て替えや整備、公有地や公園等の利活用も今後ニーズがどんどん高まっていくのは容易に想像が出来ます。官民連携事業を行う上で、「点」ではなく「面」で考えることが求められます。救急医療が市町村単位ではなく広域で体制が整備されているように、近隣の市町村にはどのような施設があり、官民連携事業を検討する場所にはどのような施設が最適なのかを考慮する必要があります。そのためには、日頃から商工会（会議所）や観光協会、建設業者会、社交組合等の場で、民間と行政の職員同士が「我がまちのまちづくり」について意見交換をすることが大事だと考えています。コンサル会社主導ではなく、地域でいろいろ意見を出し合って、そのアイデアを「まちづくり」に活かすことを期待します。官民連携事業のスクールを開講している方もいます。だいぶハードなスクールと聞いていますが、私も受講したいと考えています。

これを読んでいただいている民間企業や行政の職員の方も、「ひとごと」ではなく「我がまちのこと」として、このようなスクールを受講するのも一つの方法だと思います。一緒に沖縄の「まちづくり」を創ってまいりましょう。

県民の暮らしに奉仕する  
福山グループ

 福山建設株式会社

代表取締役社長 湧川 博正

本社／沖縄県浦添市牧港四丁目14番17号  
TEL(098)943-6671 FAX(098)943-6672

# 防衛施設整備と地域建設業の役割

## 持続可能な業界発展と地元企業参画の展望

### 会長対談シリーズ (51)



沖縄防衛局調達部

部長 上谷 康晴

(一社) 沖縄県電気管工事業協会

会長 仲田 一郎

令和7年は、入域観光客数の回復や民間投資の拡大を背景に、県内経済がおおむね堅調に推移した一年だった。一方、建設業界では人手不足や資材価格の高止まりが続き、現場を取り巻く環境は依然として厳しさを残している。人口減少が進行する中、将来にわたり建設需要に对应していくためには、担い手確保・育成と生産性向上の両立が不可欠となっている。

こうした中、昨年12月には改正建設業法が全面施行され、第三次・担い手3法のもと、適正な労務費の確保や適正工期の確保、対等な契約関係の構築など、建設産業の構造転換に向けた取り組みが本格化した。電気・管工事など後工程を担う設備工事業界では、制度の趣旨を現場にどう反映させていくかが大きな課題となっている。

防衛施設整備をはじめとする公共投資は、地域経済を下支えするとともに、地元建設業界にとって重要な受注機会となっている。持続可能な建設業の実現に向け、発注の在り方や地元企業の参画、働き方改革への対応など、発注者と受注者双方の理解と連携が一層求められる局面を迎えている。

今回の新春企画では、沖縄防衛局調達部の上谷康晴部長を迎え、防衛施設整備の現状と今後の見通し、地元企業の受注機会拡大に向けた取り組み、分離発注や働き方改革への考え方などについて話を伺った。変化の時代に直面する設備工事業界の課題と展望を探る。

### 仲田会長

あけましておめでとうございます。(一社) 沖縄県電気管工事業協会の仲田一郎でございます。当協会は昨年、創立70年という大きな節目を迎え、更なる業界発展への決意を新たにいたしました。これもひとえに、関係各位の皆様からの多大なるご支援とご協力の賜物であり、心より深く感謝申し上げます。今後も、設備工事業界の更なる発展と地域社会の安全・安心を目指し、会員一同、一丸となって取り組んでまいります。

さて、本日の対談は当協会会報誌「電管協会報 第86号」に掲載いたします新春企画となります。公務ご多忙の中、お時間を割いていただきましたことに心より御礼申し上げます。沖縄防衛局調達部の上谷康晴部長には、設備工事業界や建設業界を取り巻く現状や今後の展望について、率直なお話を伺えればと存じます。

改めて令和7年を振り返りますと、大東島地方豪雨災害など自然災害の激甚化に加え、北部地区で発生した導水管破裂事故による大規模断水など、インフラの老朽化に起因する事象も相次ぎました。復旧対応や更新工事を含め、建設業界が果たす役割は一層重要性を増しております。電気・機械設備業界としても、被災地の生活インフラ整備への迅速な対応に加え、脱炭素社会の実現など、業界の使命と責任を再認識する一年となりました。

こうした状況を踏まえ、防衛施設整備を含

めた今後の建設需要や業界への期待について、上谷部長のお考えをお聞かせいただけますでしょうか。

### 上谷部長

あけましておめでとうございます。沖縄防衛局調達部の上谷康晴でございます。昨年、創立70年という節目を迎えられ、長年にわたり設備工事業界の発展と地域社会への貢献を積み重ねてこられたことに、深く敬意を表します。また、貴協会には平素から防衛行政にご理解とご協力をいただき誠に感謝申し上げます。

防衛省の建設工事につきましては、令和4年に防衛力の抜本的強化としていわゆる安保三文書が策定されて以降、防衛費全体の増額に伴い、防衛施設の整備に係る経費についても年々増加しているところです。令和8年度においても令和7年度以上の予算が計上される見込みとなっております。

当該建設工事を円滑に進めていくには、地域の方々のご理解とご協力、そして関連する企業との連携が必要不可欠です。

貴協会をはじめ地元沖縄の声をしっかりと聞きしながら、防衛施設の整備を通じて、安全保障と地域経済の好循環に貢献できるよう、諸課題に取り組んでまいります。

**技術と信頼でサポートします。**

優良認定工場 **JSIA** (社)日本配電制御システム工業会



**長嶺電機株式会社**

代表取締役社長 長嶺 義 貢

〒901-2134 沖縄県浦添市字港川512-28  
電話(098)878-2121 FAX(098)878-7222

<http://www.nagamine.e-arc.jp>

## —今年度の発注状況および今後の主要事業の見通しについて

### 仲田会長

防衛施設整備全体の動向について丁寧なご説明をいただき、ありがとうございます。地元建設業界としても、防衛関連事業が地域経済や雇用に果たす役割の大きさを改めて認識いたしました。

それでは改めて、今年度の発注状況および今後の主要事業の見通しについてお伺いいたします。設備工事業界では、発注時期や事業規模の見通しが経営計画や人材確保に直結しております。地元企業が中長期的な視点で事業に取り組むための参考として、お考えをお聞かせください。

### 上谷部長

自衛隊施設の整備については、令和7年度の主要事業として、陸上自衛隊那覇駐屯地における第15旅団の師団化に伴う施設の整備、沖縄訓練場における補給処新編に伴う施設の整備が挙げられます。具体的には、那覇駐屯地においては隊庁舎・車両整備工場・倉庫・受電所等、沖縄訓練場においては隊庁舎・倉庫・受電所等の工事の発注を行いました。また、航空自衛隊那覇基地、陸上自衛隊宮古島駐屯地、与那国駐屯地等においても所要の施設整備に係る発注を行いました。

今後の見通しについて、令和8年度予算における主要事業として、那覇駐屯地における隊庁舎・立体駐車場・宿舎等の整備、沖縄訓練場における火薬庫等の整備を計画しております。

また、航空自衛隊那覇基地、海上自衛隊沖縄基地隊、陸上自衛隊宮古島駐屯地等においても所要の施設整備を計画しております。

米軍施設の整備については、令和7年度の米軍再編関連に係る主要整備として、普天間

飛行場代替施設の建設等を進めているところ、護岸、造成、隊舎、ユーティリティ整備等の施設整備に係る発注を行いました。また、キャンプ瑞慶覧、嘉手納弾薬庫地区（知花地区）等においても所要の施設整備に係る発注を行いました。

令和8年度も引き続き、普天間飛行場代替施設等の整備を計画している他、嘉手納以南の土地の返還を進めるための移設先（キャンプ・ハンセン、キャンプ瑞慶覧、嘉手納弾薬庫地区（知花地区））等の整備を計画しております。

## —地元企業の受注機会拡大に向けた取り組みについて

### 仲田会長

具体的な事業内容と今後の計画についてご説明いただき、ありがとうございました。次に、地元企業の受注機会拡大に向けた取り組みについてお伺いいたします。当協会の会員企業の多くは中小規模であり、地域に根差した施工実績と専門技術を強みとしております。こうした地元企業が防衛施設整備により幅広く参画できるよう、発注面での工夫や取り組みについてお聞かせください。

### 上谷部長

沖縄防衛局が発注する建設工事につきましては、入札の公平性・透明性を確保する観点から、一般競争入札を原則として、工事の内容を勘案しつつ、「中小企業者に関する国等の契約の基本方針」等を踏まえ、分離・分割するなど、競争性の確保にも留意しながら発注規模を設定しているほか、総合評価落札方式において、地元企業の地域精通度及び地域貢献度を評価する地域評価型を採用しております。

また、特定建設工事共同企業体を対象とし

た発注においては、構成員の資格緩和にも取り組んできており、その構成員として地元企業に参画していただいているところです。

ほかにも、平成26年8月から1件あたりの工事概算額が3億円以上の工事について、地域に密着した優良な技術を有する企業を特定建設工事共同企業体の構成員として活用する地域優良企業活用JVを試行するなど、地元企業による受注機会の拡大を図っております。

### 一設備工事における分離発注の方針について

#### 仲田会長

地元企業の受注機会拡大に向けた具体的な取り組みについてご説明いただき、ありがとうございます。制度面での配慮が着実に進め



られていることは、会員企業にとって大きな励みとなっております。

続いて、設備工事における分離発注の方針についてお伺いいたします。分離発注は、専門工事業者が直接施工に携わることで、品質確保や技術力向上につながるものと考えております。現在の基本的な考え方や、今後の方向性についてご見解をお示しいただければと存じます。

#### 上谷部長

設備工事における分離発注については、貴協会から従前よりご要望いただいているところと承知しております。沖縄防衛局としましては、このご要望を踏まえ、やむを得ない理由がない限り分離発注方式を原則としております。

一部ではありますが、施設の特異性や難易度の高い工事において、総合工事発注とせざるを得ないこともありますので、その点についてはご理解賜りたく存じます。

すでに多くの沖縄県内の電気工事業、電気通信工事業並びに管工事業の設備企業の皆さまに、沖縄防衛局発注工事に参入いただいているところです。今後さらに多くの設備企業、特に中小規模の設備企業の参入を推進させ、地域経済の活性化に貢献することで、地域と密着した公共工事としての役割を担っていきたいと考えております。このため、工事の発注計画の検討においても貴協会からご助言

沖縄のサビと闘い、環境を守る企業



代表取締役 石原 貴史

おかげ様で  
44周年

本社防錆センター 〒903-0116 沖縄県西原町字幸地1081番地 TEL:098-944-6608  
 車輛防錆センター 〒901-0225 沖縄県豊見城市豊崎3-36 携帯:080-2721-0201  
 ホームページ <https://www.unitex.okinawa/>



をいただきたく存じます。

### —離島・北部地域での労務者確保にかかる費用の積算について

#### 仲田会長

分離発注に関する方針をご説明いただき、ありがとうございました。設備業界の実情をご理解いただいていることを心強く感じております。

次に、離島および北部地域での工事における労務者確保についてお伺いいたします。これらの地域では、移動や宿泊を伴うことから、労務者確保やコスト面での負担が大きいとの声が多く寄せられております。地域特性を踏まえた積算や制度対応について、現状のお考えをお聞かせください。

#### 上谷部長

離島工事については、令和7年度に公告した工事において、沖縄本島から離島までの交通費・宿泊費等を想定して必要な費用を計上しています。工事受注者が決定した後に、受注者の工事計画に基づき工事監督官と協議を行い、労務者確保等を含めた必要な費用について実費精算を行っています。

北部地域については、現時点では労務者確保に係る費用は計上しておりませんが、当該費用の計上について検討中のところです。これは、いわゆる「働き方改革」に関連するところで、工事現場までの往復路の移動も労働時間となるケースもあり、その場合は工事現場での実働時間が制約されてしまうことから、工事を円滑に進めるためには北部地域の現場付近に一時的に居住する必要があると認識しています。

また、中南部地域を拠点とされる設備企業及び協力企業におかれては、高速道路の利用により工事対応は可能であるが、高速道路通



行料金が負担になるともお聞きしております。

しかしながら、北部地域を拠点とされる設備企業及びその協力企業にはこれらの費用の負担がないことから、地域による差別化が生じてしまうことも考えられますので、北部地域の工事における労務者確保に係る費用の計上については、引き続き検討を進めてまいります。

### —働き方改革の推進について

#### 仲田会長

離島や北部地域の実情を踏まえたご説明をいただき、ありがとうございます。会員企業から寄せられている課題と重なる部分も多く、今後の検討に期待しております。

最後に、建設業における働き方改革の推進についてお伺いいたします。人材不足が深刻化する中で、労働環境の改善は業界全体の重要な課題です。発注者として進めておられる取り組みや、受注者側への配慮について、設備工事業界として参考となる点をお聞かせいただければ幸いです。

**上谷部長**

建設業の働き方改革に向けた取組として、令和6年4月15日以降に入札公告等を行うすべての建設工事を対象に、週休2日制工事（現場閉所型）及び週休2日制工事（現場非閉所型・交替制）を適用しております。

また、情報共有システムの使用により受発注者間でのスケジュールの確認や工事帳票（工事打合せ簿等）の作成・発議等を、システムを利用して実施することで業務効率化をしているほか、受注者に作成していただく工事関係書類の省略・簡素化を行い、併せて「建設工事等標準書式集・記載例集」を防衛省

のホームページに掲載し受注者の負担軽減を図っております。

**仲田会長**

本日はご多忙の中、お時間を頂戴し、誠にありがとうございました。本年が、沖縄防衛局様にとって実り多い一年となることを祈念しております。

**上谷部長**

こちらこそ、ありがとうございました。今後ともよろしく願い申し上げます。



地域と共におかげさまで 73 年  
電設資材・照明器具・空調機器販売



**株式会社 金城電気商会**

代表取締役社長 井上直

〒900-0012 沖縄県那覇市泊1-6-7

☎(098) 867-3166(代) FAX(098) 867-3928

E-mail:nds@kinjo.co.jp <http://www.kds.okinawa/>

# 会員ら約182人が新年の幕開けを祝う

令和8年新年賀詞交換会を開催



参加者全員で乾杯し、業界発展への思いを一つにした

電管協は1月22日、沖縄ハーバービューホテル（那覇市）で令和8年新年賀詞交歓会を開催。会員企業などから約182人が参加し、業界発展への意気込みを新たにしました。

開会挨拶で親泊政夫副会長は「昨年実施した台湾研修では、世界の技術を肌で感じる事ができた。今年の干支は丙午ということで、世界に負けられないような前進力を持ち、会員の皆さまと一緒にいい年にしていきたい」と語った。

仲田一郎会長は「協会は昨年、70周年という大きな節目を迎え、皆さまの協力によりさまざまな周年事業を行うことができた。今後も建設業全体の目標である担い手確保と、持続可能な業界の実現に向け、引き続き協力をお願いしたい」と呼び掛けた。

乾杯の音頭は、(株)沖縄建設新聞の下地輝昭社長が務め、参加者全員で新年の幕開けを祝った。余興では、ミュージシャンの伊禮俊一&秋吉



下地社長が乾杯の音頭をとった

そよデュエットによる音楽ライブも行われ、会場は大いに盛り上がった。また、景品が当たる抽選会などもあり、終始にぎやかな雰囲気での会が進んだ。

中締め挨拶に立った新垣光博副会長は「70周年事業の締めくくりとして記念誌を発刊するので、皆さま期待して待っていてほしい。会員のさらなる繁栄と、出席者の健康を祈念し、中締めの挨拶とする」と述べ、会を締めくくった。



電材・照明・空調・設備機材の総合卸商社

株式会社 アサヒ

代表取締役社長 福重 勉

本社/〒900-0012 沖縄県那覇市泊2丁目1番地11 TEL 098-862-8111 FAX 098-863-3044

## 協会創立 70 周年を節目に 次の歩みの一年へ

(一社) 沖縄県電気管工事事業協会

会長 仲田 一郎



あけましておめでとうございます。  
令和 8 年の新春を迎え年頭のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本協会の活動へ格別なるご支援、ご協力を賜わり、心より感謝申し上げます。協会主催の公共工事関連の入札・契約説明会、ボランティア活動、工業高校生を対象とした現場見学会及び合同企業説明会など事業計画を予定通り実施することが出来ました。改めて御礼申し上げます。

また、本協会は、昨年 4 月に創立 70 周年を迎え、記念事業として計画いたしました、協会功労者表彰及び祝賀会、沖縄建設新聞への記念広告、チャリティーゴルフコンペ、首里城公園におけるボランティア清掃、そして総勢 22 名の会員に参加して頂いた 2 泊 3 日の台湾視察研修等、皆様のご協力で無事実施する事が出来ました。この場をお借りしまして御礼申し上げます。

なお、記念誌発行につきましては、3 月～4 月に皆様のお手元へ届けられる様、鋭意編集作業を進めておりますので、もうしばらくお待ち頂ければと思います。

さて、令和 6 年元日に発生いたしました能登半島地震以降、能登地方や沖縄本島北部で発生した豪雨災害など自然災害が激甚化し、加えてインフラの老朽化に起因する事故も発生しており、その復旧支援や更新等我々建設業界の果たす役割が益々重要になっております。

このような「地域の守り手」としての重責を期待される中、担い手不足、処遇改善、働き方改革、生産性向上等建設業会の課題解決に向けて、国は第三次・担い手 3 法(改正)を公布し、昨年 12 月までに様々な関連法令が施行されました。官民を挙げてこれまで以上の取り組みが求められております。

また、今回の法令改正は公共工事に限らず、民間工事にも一定程度の適用が求められております。特に

民間工事の「後工程」で影響を受ける我々は、国の関連法令の施行に合わせて、「適正工期の確保及び工程の遵守」「長時間労働の是正」「対等な契約関係の構築」「適切な労働環境の確保」等、発注者や元請け企業に対して要請することとしております。

会員の皆様にも建設業全体の目標でもあります担い手確保、持続可能な建設業の実現に向けて、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

昨年は、電管協が従前から取り組んで参りました、分離・分割発注、地元企業優先活用、適正利潤の確保等の活動につきまして、特筆すべき成果があったものと考えております。

公立北部医療センター整備工事につきましては、電管協からの要請にご理解を頂き分離発注となり、応募要件設定につきましても事前ヒアリングの機会を設けて頂きました。

また、沖縄県総務部管財課発注の県庁舎(行政棟)改修工事につきましても、公告前に意見交換会を開催して頂き、会員企業からの意見・要望のあった最低制限価格算定式の見直しを実現いたしました。その他の要望事項につきましても、検討がなされていると聞いております。

入札の結果は、どちらの案件も発注者が懸念しておりました不調は回避され、会員企業が工事に参画することになりました。入札に参加された会員の皆様には、改めて感謝申し上げます。

電管協は、本年も会員及び県内建設業界の課題解決に向けて、協会活動を推進して参りますので、引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、新年が皆様にとりまして、更なる飛躍の年になります様、ご健勝とご活躍とご安全をご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

ガスもでんきも!



沖縄ガス

代表取締役社長 湧川 直明

本社 〒900-8605 沖縄県那覇市西3丁目13番2号

TEL:098-863-7730 FAX:098-863-7748

令和8年 新年賀詞交歓会 写真特集



電設資材卸売業



株式会社 共和電気

代表取締役 平 敷 信 行

本社 〒900-0012 沖縄県那覇市泊1丁目12番地12  
TEL(098)867-0294 FAX(098)863-3370

# 第7回おきなわ建設 フェスタに参加

多くの親子が高所作業車に試乗



関係者や児童らによるテープカット

子どもとその保護者らに建設重機の試乗やものづくり体験、パネル展示などを通して建設産業の魅力や役割を伝える「第7回おきなわ建設フェスタ」(事業主体・おきなわ建設フェスタ実行委員会)が11月9日、沖縄市の県総合運動公園体育館と北口駐車場で開かれた。会場には約1万1000人の親子連れらが訪れ、子どもらはドローンの操縦や高所作業車試乗、建築模型づくり、クイズ&スタンプラリーなどを行い、楽しみながら建設業の仕事や技術に触れ、理解を深めた。

電管協は、沖縄県電気工事業工業組合、(株)沖電

工の3者合同で、屋外会場での高所作業車試乗体験を実施。多くの親子が参加し、順番待ちの列ができるなど好評だった。電管協の知念徹総務部長は「普段街中で目にする高所作業車へ乗りたいと思う子どもたちがいると考え、試乗体験を用意した。将来はこの業界に入ってほしいという望みはあるが、少しでも関心を持つことで子どもたちが視野を広げるきっかけとなればうれしい」と語った。

高所作業車の試乗体験に参加した親子は「(父親)建設重機は街中で見かけることは多いが、触れる機会はほとんどないため、子どもたちが実際に乗って楽しく体験できたと思う。興味を持つきっかけになり、将来の仕事や勉強にもつながる機会になった」「(小学4年生)高所作業車はとても高く、いい景色が見られた」と笑顔を見せた。

このほか、屋外会場では、ミニ油圧ショベルや高所作業車の試乗、カニクレーンの操縦体験が人気を集め、整理券を求める長い列ができた。屋内会場では、ドローン操縦体験や測量体験、草花の寄せ植え、親子木工教室などが行われ、職人らの説明を聞きながら親子で真剣に取り組む姿が見られた。



電管協の知念部長



親子で高所作業車に試乗



1万1000人が来場した

# 会員企業が各種表彰に輝く

## 発注機関などによる優良業者等表彰

県内発注機関による優良業者等表彰式などが、2025年8月から26年1月末まで行われ、多数の会員企業が表彰された。

各表彰等を受賞した会員企業・技術者を紹介する（敬称略）。

### ■2025年度県功労者

＜産業振興部門＞

▽照屋正秀（南部電工(株)会長）

### ■県南部農林土木事務所2025年度優良建設業者等表彰

▽(株)沖永開発「沖縄地区（中城）中層型浮魚礁回収設置工事（R5ゼロ国）」、優良技術者：安谷屋優紀（監理技術者）

### ■県中部農林土木事務所2025年度優良建設業者等表彰

▽(株)丸福「本島中部第1地区（長浜ダム）機能保全工事（R5-1）」、上原淳（主任技術者）

### ■那覇市上下水道局2025年度優秀建設工事表彰

▽技研工業(株)「令和5年度国道330号配水幹線布設替工事」

### ■沖縄市2025年度優良建設工事表彰

▽(株)テクノ工業「庁舎空調設備（PAC）更新工事」

▽(有)クラウン工業「沖縄市立学校給食センター第1調理場空調機設置工事」

### ■与那原町2025年度優秀建設工事業者表彰

▽(株)東部電気土木「与那原公園排水路整備工（2工区）」

### ■嘉手納町2025年度優良建設工事業者表彰

▽(株)オカノ「嘉手納野球場建設工事（電気設備）その1」

▽(株)琉建工業「嘉手納野球場建設工事（土木）その2」

▽(株)東江電気工事「嘉手納野球場建設工事（電気設備）その2」

▽ワールド電気産業(有)「嘉手納野球場建設工事（電気設備）その2」

### ■2025年度高圧ガス保安関係表彰

【(一社)沖縄県高圧ガス保安協会会長表彰】

▽屋嘉利成（優良保安技術者、(株)東洋設備）

### ■2025年度電気保安功労者表彰

【沖縄電気安全・使用合理化委員会委員長表彰】

▽平良幸治（沖縄電力(株)）

### ■2025年度那覇市公園ボランティア表彰

▽光電気工事(株)

▽國和設備工業(株)

空調・衛生・水道施設  
機械器具設置工事業

 **三栄工業株式会社**

代表取締役 **福田 郁絵**

本社 〒900-0001  
沖縄県那覇市港町3丁目2番8号  
TEL (098) 868-0191  
FAX (098) 862-4314



ISO 9001  
認証登録

〒904-2165

F 電 沖  
A 縄  
X 話 県  
○ 沖  
○ 縄  
○ 市  
○ 宮  
○ 里  
○ 三  
○ 丁  
○ 目  
○ 八  
○ 番  
○ 三  
○ 七  
○ 号

社代表取締役  
長役 **柴引 健**



**東洋電気工事株式会社**

電気と通信

 **第一工業株式会社**

代表取締役社長 **上里 幸春**

取締役工事部長 **比嘉 一貴**

〒904-2173

沖縄県沖縄市比屋根6丁目33番1号

TEL:098-934-9801

FAX:098-934-9802



## 小波津氏が県に受章報告

秋の叙勲で旭日双光章に輝く



受章報告した小波津氏(左)と砂川部長

沖電水工事(株)の小波津聡会長は12月19日、県庁に砂川勇二土木建築部長を訪ね、2025年秋の叙勲で旭日双光章を受章したことを報告した。小波津氏は「大変重い章ではあるが受章することができた。今後も微力ながら業界発展に寄与していきたい」と述べ、感謝と今後への意欲を示した。

砂川部長は「労働環境整備や電気管工事業界の地位向上に尽力をされた功績が高く評価されたも

のと考えている。担い手確保につながる催しの立ち上げにも力を尽くしていただき、感謝している」と功績をたたえた。

小波津氏は大学卒業後、1982年に沖電水工事(株)へ入社し、2002年に代表取締役社長に就任。経営理念と社訓を明確化して全社員参加型の経営を推進するなど、品質や環境への配慮を重視した企業運営に取り組んできた。13年には(一社)沖縄県電気管工事業協会の副会長に就任し、設備工事の分離発注の継続や県内企業の優先活用を推進。建設産業合同企業説明会では主催組織の中核団体として企画段階から参画。おきなわ建設フェスタでも第1回の実行委員会に加わるなど、担い手確保に向けた取り組みにも力を注いできた。

小波津氏は報告後、設備工事業界と行政との連携について、「現場課題などを発注担当者らと意見交換し、互いに改善点などを共有していけたらと考えている」と語った。

## 仲田氏が秋の褒章で黄綬褒章

支えてくれた方々を代表しての受章



受章式に出席した仲田氏

2025年秋の褒章で黄綬褒章(管工事業業務精励)を全国管工事業協同組合連合会(全管連)の推薦で受章したヤシマ工業(株)代表取締役の仲田一郎氏。「これまで支えてくれた会社と組合の多くの方々を代表して受章したと感じている」と感想を語った。

ヤシマ工業の社長として社業に励みながら、那覇市管工事業協同組合(那覇管)の代表理事、沖縄県管工事業協同組合連合会(沖管連)の会長のほか、九州管工業組合連合会(九管連)の副会長、全管連の理事も務める。2023年からは(一社)沖縄県電気管工事業協会の会長と多忙を極める。

「自分が何かの功績を残したからというのではなく、これまで社業を支えてきた歴代役員・諸先

輩たちと今の社員の貢献と沖管連や那覇管の組合員の皆さんのご支援のおかげで黄綬褒章をいただいたというのが正直な心境」と話した。

那覇管、沖管連の要職を長年歴任し、九管連や全管連の役員としての活動は10年以上になる。「組合員のそれぞれの企業規模は5人から10人の少人数の会社が大半だ。その小さな会社が集まって組合を構成している。その組合が存続していくという事を重要課題としている。これはひいては地域住民並びに地方自治体にも資することと認識して理事をやらせてもらっている」と振り返る。

全管連から沖縄県の会員が黄綬褒章で推薦されるのは今回が初めての事。仲田氏は「今、水道インフラの不具合が注目を浴びる管工事業界に関心が向けられたり、推薦していただいたことはありがたいことだし、県内組合員の励みや後進の人たちにつながるものだと思っている」と話し、「個人ではなく、皆でもらった褒章だと思う」と表情を弛めた。

# 平和祈念公園で清掃活動

電管協会員88社232人が参加



活動に参加した会員ら

10月3日、糸満市の平和祈念公園で清掃活動を実施した。(公財)沖縄県平和祈念財団が行う「平和祈念公園愛護活動」と連携した取り組みで、88社の会員企業から232人が参加。園内清掃や苗木植栽、高所作業車を使用した高木剪定などに汗を流した。



高木剪定などを実施

福田郁絵副会長は「戦後80年となり、多くの方が来園されると思う。この祈念公園がさらに素晴らしい公園となるよう、心を込めて清掃作業や苗木の植栽、高木剪定を行ってほしい」と呼び掛けた。

参加者は戦没者に黙祷を捧げた後、「平和の礎」の拭き掃除や「摩文仁

の丘」の掃き掃除などを約1時間にわたり行った。高木剪定では、(株)沖電工、(株)那覇電工、(株)奥原電設が準備した4台の高所作業車を活用し、園路周辺の樹木を整えた。

参加した沖縄パナソニック特機(株)の渡慶次拓也さんは「園内は広く清掃のやりがいがあった。平和祈念公園を訪れる県民や観光客が快適に過ごせればうれしい」と語り、笑顔を見せた。



「平和の礎」を磨く参加者

株式会社 **きらり電設**

代表取締役 喜納 政貴

ISO9001:2015 認証取得  
ISO14001:2015 認証取得

Intertek UKAS MANAGEMENT SYSTEMS 014

代表取締役 長 **天願 智一**

沖繩県那覇市首里石嶺町三丁目八番地一  
電話(098)8861632  
FAX(098)8861632  
沖繩県うるま市宇赤道十四番地の六  
電話(098)9731914  
沖繩県恩納郡前兼久四九七の三

空調・衛生・上下水・プラント・浄化槽設備工事  
**沖繩水質改良株式会社**

建設技術で地域社会に貢献

株式会社 **テクノ工業**

代表取締役 新垣 敏哉

〒904-2172  
沖縄県沖縄市泡瀬二丁目8番2号  
TEL:098-938-0262  
FAX:098-938-0166

# 電管協が県総で清掃活動

中・北部の会員が参加

11月28日、沖縄市の県総合運動公園オートキャンプ場で恒例の清掃ボランティア活動を実施した。地域社会への貢献を目的に毎年行っている取り組みで、中・北部地区の会員60人が参加した。

福田郁絵副会長は「公園の管理が素晴らしくゴミはほとんどないが、落ち葉清掃などでさらに快適な利用環境になるよう頑張ろう」と呼び掛けた。



落ち葉などを回収

参加者はキャンプ場や海岸沿いでゴミ収集を行い、約1時間の作業で数十袋の落ち葉を回収した。また、放置されていたペットボトルやバドミントンラケットなども拾い集め、場内の整理に努めた。

参加した中部電水工事(株)の石川孝子さんは「会社の同僚3人と参加した。公園がきれいだったので、スムーズに落ち葉を拾うことができた。次も機会があれば参加したい」と話した。(株)シーイーの宮平一歩さんは「公園がきれいに保たれていたため、清掃が必要なエリアが少なかったが、落ち葉はたくさんあったので回収を頑張った。公園がよりきれいになるのは気持ちがいい」と語り、笑顔を見せた。



海岸清掃も行った



会員約60人が汗を流した



in good faith "誠意をもって"

株式会社 **和高建設工業**  
代表取締役 **喜屋武 護**

〒901-0156  
沖縄県那覇市田原 4-5-2  
TEL : 098-852-1733  
FAX : 098-858-0902  
URL: <https://www.wako-oki.com/>



代表取締役 **宮里 敏彦**

大和電工株式会社

営業(空調設備・衛生設備)  
種目(電気工事・土木工事)

本社 沖縄県那覇市若狭三丁目四十五番十号  
TEL(098)8691400 FAX(098)8691401  
沖繩支店 沖縄県豊見城市与根西原五〇一五四番地  
TEL(098)9511604 FAX(098)9511605  
E-mail: [dandenko@jasmine.ocn.ne.jp](mailto:dandenko@jasmine.ocn.ne.jp)

空調設備・衛生設備・電気設備  
消火設備・医療ガス設備



代表取締役社長 **平良 和彦**

〒900-0003 那覇市安謝 1丁目23番8号  
TEL : 098-868-4152 FAX : 098-863-1522  
<http://okinawa-okano.co.jp>

話題

## 電管協創立70周年で寄付 福祉施設に光を

8月13日、那覇市の社会福祉法人沖縄肢体不自由児協会（大城勇夫理事長）に寄付金70万円を贈った。

創立70周年を記念して開催したチャリティゴルフコンペの収益に、電管協からの拠出金を加えたもので、重度障害児の療育や生活支援を目的としている。仲田一郎会長は「光の届きにくい福祉施設が存在が、支援を通して社会に広く伝われば」と語った。

寄付を受け、大城理事長は「温かいご支援に心

から感謝する。利用者と家族がふれあえる機会づくりに活用したい」と謝辞を述べた。

ゴルフコンペは7月30日、南城市の琉球ゴルフ倶楽部で開催され、会員54社から83人が参加。福祉貢献と会員相互の交流促進の場となった。



大城理事長（前列中央）に寄付金を贈呈した

話題

## 電管協青年部が県社協に寄付 ゴルフ大会の収益金贈呈

青年部（真保栄崇部会長）は10月21日、那覇市の沖縄県社会福祉協議会（湧川昌秀会長）を訪ね、電管協青年部が10月9日に開いたチャリティゴルフ大会の収益金15万9000円を寄付した。青年部では2013年から県社協へ寄付を続けており、今回で12回目。寄付総額は153万1000円となった。寄付金の贈呈には真保栄部会長のほか、知花



目録を手渡す真保栄部会長（左から3人目）

真育副部会長、喜友名一樹副部会長らが出席した。真保栄部会長は「今回のチャリティーゴルフ大会には53人が参加し、寄付金が集まった。電管協の会員は増加傾向にあり、大きな寄付活動になってきている。今後も社会貢献の一環として県社協への寄付を続けていければ」と述べ、湧川会長に目録を手渡した。

湧川会長は「社協では、地域でのつながりや支え合いの輪を広げる『サンクス運動』を展開しており、さまざまな団体と協力して取り組める体制づくりを目指している。寄付金は社会福祉の向上のため大切に活用する」と話した。

信頼で創るより良い環境



電気設備・電気通信  
消防施設 施工

# 沖電水工事株式会社

代表取締役社長 當山 雅治

〒900-0016  
那覇市前島2丁目1番10号  
TEL (098) 867-6311  
FAX (098) 868-3282



## 比嘉工業株式会社

代表取締役会長 比嘉広明  
代表取締役社長 新里孝夫

事業本部 沖縄県西原町字小那覇九〇三番地  
〒903-0103 電話 (098) 945-1462 (代)  
FAX (098) 946-1835  
URL <http://www.higa-kogyo.jp>



9001:2015 認証取得  
ISO 14001:2015 認証取得

沖縄県那覇市字天久二二二番地  
電話 〇九八八八六八八三二  
FAX 〇九八八六一一五四六四

代表取締役社長 玉城信六

代表取締役会長 仲座正



## 株式会社 東洋設備

三菱重工冷熱(株) 沖縄県総代理店

HP >

# 円滑な受発注に向けて議論 県と庁舎大規模改修で意見交換



発注方法などで意見交換した

電管協は8月22日、那覇市の電管協会館で、県本庁舎（行政棟）改修工事に関する意見交換会を開き、会員企業から約40人が参加した。意見交換会には、事業を所管する県総務部管財課本庁舎改修推進室の比嘉久雄室長らが参加し、事業の概要や検討している工程、発注方法などを説明するとともに、参加者の質問に応じた。

親泊政夫副会長は「今回の計画を知った際、協会執行部では工事が公告された場合、応札者が少なく、場合によって不調・不落になりかねないとの意見があり、その旨を事務局を通じて管財課に伝えた。その際、比嘉室長から受注者との意見交換が必要との提案があり、開催の運びとなった」と経緯を説明。その上で「県庁舎改修工事の契約がスムーズに行われ、受注者にも適正な利潤が得られ、安全で高品質な工事が提供できるよう活発な意見交換をお願いする。また管財課も受注者の意見や要望が可能な限り反映される入札契約となるよう検討してもらいたい」と呼び掛けた。

県本庁舎は1990年に竣工し、築35年以上が経過して老朽化が進み、電気や機械設備などの大幅な更新が必要となっており、庁舎全体の大規模改修が予定されている。比嘉室長は施工期間が63カ月

と長期に及ぶ工区があること、入札不調により工程へ影響が出ることを懸念しているとの認識を示した。

改修工事の実施方法は、3フロアまたは4フロアを一つの区画として閉鎖し、14階から順に工事を進めていく方法などを検討としている。北側から改修工事を行い、北側が完了したら南側の改修工事を進める。工事完了は2030年度の予定。工事期間中は、現庁舎を利用しながら部分移転による入れ替えを繰り返し行う予定。

参加者から「最低制限価格の設定は県で統一しないのか」との質問が上がり、県は「土建部、農水部、企業局、教育庁は実施要領を定めて、運用している。総務部での運用については現在検討中。結論については公告でアナウンスする」との考えを示した。また「各機器など資材の発注時期について、5年分まとめてということにはならないと思うので、必要経費の支払い方法や物価スライドについてを教えてもらいたい」との意見が上がった。県は「ワンフロアの改修が完成したら、部分引き渡しという形で経費を支払う方法を検討している」と応じた。さらに工事の発注見通しに関して「JVの欄に『可』と記されているが、単体でもJVでもいいということなのか」との質問に対し、県は「まだ決定したことではないが、受注者が希望する形で入札に参加してもらいたいと考えて、『可』という表現にしている」とした。

このほか「配置する技術者が63カ月も縛られると会社としても影響があるので、1年もしくは2年で交代できるようにしてもらえないか」、「駐車場所や資材置き場、現場事務所などに利用できる場所を確保してほしい」などの要望が上がった。

◆営業種目◆  
空調設備工事 修理・薬品洗浄  
給排水設備工事 電気設備工事

 株式会社沖縄エンジニア

代表取締役 CEO  
**仲本 賢一郎**

本社  
〒901-2203  
沖縄県宜野湾市野嵩2丁目1番1号  
電話(098)892-0100 FAX(098)892-0800

やんばる営業所  
〒905-0015  
沖縄県名護市大南2丁目8番2号  
電話・FAX(0980)43-7586

 株式会社新共電気工業

【営業種目】電気・管・空調・土木・設計・見積・施工

代表取締役 **新垣 勇誠**

本社 沖縄県那覇市字国場1183-8  
電話(098)855-5589

南風原営業所 沖縄県南風原町字津嘉山11538-3  
電話(098)889-4031 FAX(098)889-4125  
E-mail sinkyo@woody.ocn.ne.jp

八重瀬営業所 沖縄県八重瀬町字世名城728番地3  
電話(090)6862-4556

南城市営業所 沖縄県南城市大字稲嶺1253番地2  
電話(098)944-1045

  
Intertek  
ISO 9001:2015 認証取得  
ISO 14001:2015 認証取得  
ISO 45001:2018 認証取得

 株式会社祖慶電設工業

代表取締役 **平良 愛子**

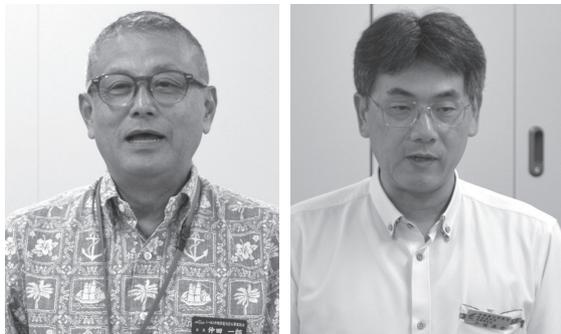
本社 那覇市小禄三丁目十番地三  
TEL(098)857-1574

豊見城営業所 豊見城市字与根三三四〇番地二  
TEL(098)840-1600

電気設備工事・設計施工

## 適正工期や労務単価など議論

沖総局と意見交換



挨拶する仲田会長（左）と小塚営繕調査官

電管協と沖縄総合事務局開発建設部は8月18日、那覇市の那覇第2地方合同庁舎で営繕事業に関する意見交換会を開いた。第三次・担い手3法を踏まえた働き方改革の取り組みや労務費の適正化、人材不足対応に関する情報を共有した。電管協からは仲田一郎会長をはじめ4副会長や理事ら10人、沖総局から開建部の小塚達史営繕調査官、内藤大哲営繕課長、長浜政明営繕監督保全室長ら6人が出席した。

仲田会長は「人手不足や労務費の急上昇で収益環境が厳しくなっており、県や市町村で入札の不調・不落が増加している。県内の公共工事設計労務単価には多くの課題があり、課題解決に向けて担い手3法に関する情報を共有し、会員への周知を図りたい」と述べた。

小塚営繕調査官は「担い手確保や働き方改革に関する最新の取り組みを共有し、公共建築を発注する他機関や市町村への周知につなげたい。いただいた意見については、沖総局営繕として何ができるかを考え、関係機関と連携し少しでも前に進むよう取り組みたい。今後も電管協と沖縄の発展に向けた良きパートナーとして意見交換を続けたい」と呼び掛けた。

沖総局は今年度の働き方改革の取り組みとして、①適正な工期設定・施工時期などの標準化②必要経費へのしわ寄せ防止の徹底③生産性向上の3点を示した。また営繕事業における新たな取り組みとして、完全週休2日の確保、関係者間調整の円滑化、働き方改革や生産性向上に配慮した仕様書の適用、建設業の働き方改革に考慮した工期設定を進めていると説明した。

電管協は適正工期に関して「猛暑時期の工事中断を加味した工期設定をお願いしたい。職人が出

勤した後に休みとなると日当が発生するため、前もって休みを示す基準があれば助かる」と要望した。これに対し沖総局は「当初工期の設定から暑さが確認できれば中断期間の調整は可能」と回答。休みの基準については「現実的には、その日の朝のWBGT値を見て判断せざるを得ない。ただし、こうした意見があったことは国土交通省との会議で情報共有する」と述べた。

電管協からの要望事項の一つである地域外からの労務費確保に要する費用の積算については「沖縄は隣県から人を集めることができず、特に電気設備会社が少ない北部において中南部から人員を移動させている。毎日の往復は負担が大きく、多くの会社が出張扱いとして宿泊費を負担している」と現状を説明した。これに対し沖総局は「県との意見交換で状況を把握し、国交省にも情報を共有していきたい」と応じた。

さらに電管協は公共工事設計労務単価の適正化についても言及。2025年2月に国交省が発表した調査結果で、県内の設備関連3職種（電工・配管工・ダクト工）が全国最低水準の価格設定となったことを受けて「現場の実情と調査結果に乖離があり、調査手法に課題がある。適正な調査になるよう沖総局の協力をお願いしたい」と要望した。沖総局は「正確な数字が伝わっていないのは課題。対応の是非を含め、懸念があることを担当部署に伝える」と述べた。

このほか意見交換会では、若手人材の確保や外国人労働者の受け入れ状況、高校生の入職促進活動についても情報を共有。双方は協力して人材確保などの課題に取り組む姿勢を確認した。



働き方改革への対応などを話し合った

# 労務単価の課題などで情報共有

## 県土建部と意見交換

電管協と県土木建築部は11月5日、県庁で意見交換会を開き、公共工事の発注・契約制度等をめぐる課題について幅広く意見を交わした。電管協からは仲田一郎会長と4副会長ら10人、土建部から技術・建設業課の大湾朝亮課長や施設建設課の當山真紀課長ら10人が出席した。

仲田会長は、公共事業労務費単価適正化の必要性について、処遇改善や資材価格の高騰への対応、働き方改革、生産性向上に密接に関わると述べ、12月に全面施行を迎える改正建設業法と入契法を見据え、協会として法令順守と担い手確保に取り組む姿勢を示した。

意見交換では、▽公共工事労務費単価の適正化▽電子契約導入▽総合評価方式における「難工事施工実績」の評価期間▽昇降機工事の分離発注▽地域外労務者確保に要する費用の積算運用▽県有施設の照明LED化事業—の6項目で情報共有を図った。

公共工事設計労務単価では、県内の電工、配管工、ダクト工の3職種が普通作業員を下回る単価となっている現状を協会側が説明。労務費調査の記載内容が実態と乖離している可能性があるとし、適正な単価につながるよう調査対象者への周知と指導を求めた。県は全国統一手法に基づく調査であり適切に対応していると説明しつつ、3職種を含め、記載内容の確認と実態把握を進める考えを示した。

電子契約の導入では、協会側が県発注工事での早期導入を求め、土建部が先行して取り組む案を提示した。県は財務会計システムを含む全庁的な課題の検討段階にあり、導入時期を明確にすることは難しいとしたが、新たなシステム導入による事務効率向上の方向性は共有した。

総合評価方式で扱う難工事施工実績の評価期間に関して、協会側は電気・管工事が発注量の制約を受けやすく、1年間では加点による優位性が生かせないとし、3年程度に期間を延長するよう要望した。県は12月公告分から2年への



電管協幹部らが発注担当者と意見を交わした

拡大を進めており、3年への移行は不調・不落の改善状況を見極めながら検討する姿勢を示した。

昇降機工事の分離発注では、協会側が一括発注の増加で専門業者の受注機会が減っている点に懸念を示し、適正な受注環境を維持するため、分離発注を求めた。県は近年、分離発注件数を増やしていると説明し、およそ半数が分離発注に当たる現状を示した上で、不調・不落の状況や工程への影響を踏まえながら発注方式を判断していく考えを示した。

地域外からの労務者確保に要する費用の積算では、協会側が北部地域の人員不足や宿泊環境の厳しさを挙げ、中南部から北部への移動にも適用できるよう改善を求めた。県は他県の運用状況を確認した上で検討するとした。

県有施設の照明「LED化」事業では、調査業務や長期のESCO事業実施など県外企業に優位な要件設定が増えている点を踏まえ、協会側が適正工期と利潤確保につながる発注要件の設定を要望した。県は不調・不落の増加や職員不足の状況を説明し、短期間で全施設更新を進める必要があった事情を紹介した。

会合では、担い手確保や雇用の維持には、賃金水準の改善や施工環境の整備が求められるといった現状や、法改正への対応など建設業界全体で抱える課題が増している状況も共有された。県は関係課が連携しながら働き方改革と発注環境の改善に取り組む姿勢を示し、意見交換を継続して課題解消につなげる考えを示した。

# 新規入職者促進へ情報共有

## 工業高校教諭と意見交換



人材確保・育成に向けて意見を交わした

8月25日、那覇市の電管協会館で県内工業高校3校の教諭と意見交換会を開いた。新規高卒者の入職を促す目的で毎年実施している取り組みで、南部工業高校、美里工業高校、那覇工業高校の設備系学科の教諭10人と、電管協から仲田一郎会長や担い手確保・育成委員会委員長を務める親泊政夫副会長ら10人が出席。設備工事の魅力発信や入職促進につながる方策について意見を交わした。

親泊副会長は「近年の新規採用実績は、年度当初の計画を達成できない状況が続いている。電気、水道、空調、衛生などの設備工事業界は国民の生活を支えるかけがえのない職種であり、魅力ある業界であることを若い世代に伝えて、高校からの入職者確保・育成に努めていきたい」と述べた。

電管協は沖縄労働局の資料を基に新規学卒者や離職状況を説明し、加えて会員企業118社を対象に実施した雇用状況調査（回答83社）の結果を報告した。2025年度の新規採用計画の56事業所・242人に対し、実際の新規採用数は21事業所・

60人とどまり、中途採用で人材を補っている実態を示した。

採用状況に関して企業側からは「工業高校からの入職が年々減少し、ゼロの年もある」「若手の定着率が低く、短期で離職するケースも多い」「県外志向が強まり、地元採用が難しい」との声が相次いだ。その一方で「普通高校出身者や職業訓練校修了者の採用」「インターンシップを経た入社」「女性技術者の活躍」など、人材確保に向けた取り組みも共有された。

これに対し学校側は、生徒数の減少や教員不足、専門人材の配置が進まない現況を報告。特に「学科の存続が危うい」「専門外教諭が授業を担っている」と危機感を示し、「資格取得や実習にかかる生徒負担が大きい」「県外企業へ流出が進む一方で、県内企業の情報発信や支援が不足している」との意見もあった。

また「企業訪問やインターンシップの機会を増やしてほしい」「現場体験を通じて実務のイメージを持たせたい」「保護者への説明や地域社会への発信も必要」との要望が挙がった。このほか、特別な配慮が必要な生徒の受け入れ態勢や、定時制の生徒への支援についても協力を求めた。

最後に仲田会長は「学校現場の声を直接聞き、採用する企業側の努力不足を感じた。生徒の現状を認識した上で、会社や社会の良さを伝えていかなければならない。電気・管工事業は市民生活を支える意義ある仕事であり、人材育成に向けて、今後も学校との連携を深めていきたい」と述べた。



ISO 9001:2015 認証取得  
ISO 14001:2015 認証取得



ISO 9001  
ISO 14001

代表取締役

新垣光博

ダイキン空調機特工店  
桐和空調設備株式会社

〒900-0002 那覇市曙一丁目八番一  
FAX (098) 867-1036  
TEL (098) 867-1034

私たちが持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

ISO 9001 : 2015  
ISO 14001 : 2015  
ISO 45001 : 2018  
認証取得

沖繩電力株式会社配電工事委託協力会社  
電気工事・土木工事・電気通信工事



### 南部電工株式会社

代表取締役社長 石川 俊 三

〒901-0306  
沖繩県糸満市西崎町5-6-20

TEL (098) 994-2607  
FAX (098) 992-3026



## maeda

electric construction

代表取締役 真栄田 士郎

〒900-0025 沖繩県那覇市壺川1丁目16-11  
TEL : 098-853-9091

# 防衛局が入札・契約説明会

## 26年度概算要求など紹介



会員約 30 人が参加した

12月19日、2025年度沖縄防衛局入札・契約制度説明会を電管協会館で開催した。沖縄防衛局調達部の川端智浩次長と古賀力也設備課長、総務部の喜瀬浩一契約課長の3人が講師を務め、26年度概算要求の概要や入札・契約制度の変更点などを説明。説明会には会員ら約30人が参加した。

仲田一郎会長は、昨年度の説明会を振り返り、新たな入札・契約制度における地元企業参入に関する条件緩和や、今後の工事計画に関する具体的な説明が会員の応札意欲向上や受注体制づくりに大きく寄与したと指摘。その上で「会員の皆さまには説明会を通じて、多様化する入札・契約制度について理解を一層深め、1件でも多く応札し、企業発展のチャンスにしてほしい」と呼び掛けた。

説明会では、川端次長が25年度発注状況と26年度概算要求を解説した。22年度の予算約2,056億円と比べ、25年度は約3,444億円（補正予算案約510億円含まず）まで拡大していると説明。26

年度概算要求については、米軍再編や提供施設整備（F I P）が未定とした上で、自衛隊施設整備として約1,108億円の確保を見込んでいると紹介した。

内訳は、陸上自衛隊が那覇駐屯地の庁舎や隊庁舎等の整備で約348億円、沖縄訓練場の補給処支処整備などで約190億円。海上自衛隊は沖縄基地隊と那覇航空基地の最適化事業などで約69億円と39億円。航空自衛隊は北大東島宿舎などで約175億円、那覇基地（嘉手納地区含む）の航空機隠蔽用施設整備などで約145億円を見込んでいた。併せて、26年度以降に建設工事を計画している米軍施設についても説明した。

喜瀬課長は、防衛施設建設工事の入札・契約制度における重要点と変更点を解説。改正建設業法などの全面施行に伴い、12月12日公告分から工事内訳明細書の記載事項が増えているとし、記載漏れがあった場合でも入札書の差し替えはできないが、追加提出で対応していくと説明した。

古賀課長は総括として、資材価格や人件費の高騰により工事費が上昇し、総合評価落札方式の基準額8.1億円を超える工事が増えている現状を説明。26年度は基準額未滿の工事発注を増やしたい考えを示したが、技術者不足などを踏まえ工事を一定程度まとめる必要があるとした。離島工事については、地元企業の参加に期待を示しつつ、本島内企業の協力も得ながら進める方針を説明。あわせて、見積もり活用を継続し、現場で課題があれば意見を寄せてほしいと呼び掛けた。



### 三協電気工事株式会社

代表取締役会長 松島寛行  
代表取締役社長 松島寛和

本社  
〒900-0031 那覇市若狭3丁目42番1号  
TEL(098)868-8141 FAX(098)868-2209

豊見城営業所  
〒901-0213 豊見城市高嶺589-12 2F  
中部営業所  
〒904-0034 沖縄市山内3-14-30 301



私たちは、技術とサービスを通じて  
地域社会の発展を支えるために存在する

### 大成設備工業株式会社

代表取締役 狩俣 吉信

防災シェルター正規代理店



### 株式会社 アメニス空調

代表取締役 奥浜 真潤

空調・換気設備工事 電気設備工事  
給排水衛生設備工事 設備保守メンテナンス・修理

〒904-2174 沖縄市与儀3丁目18番18号  
TEL: (098) 933-8610 FAX: (098) 933-8616

# 南部工業高校で職業講話実施

棚原氏が電気工事業の魅力語る



講師を務めた棚原氏

12月24日、県立南部工業高校電気科の1、2年生約50人を対象に職業講話を実施した。講師是那覇電気工事業協同組合の棚原さやか事務局長が務め、「会社が求める人材とは～人生イロイロ～」と題し、電気工事業の魅力や社会人としての姿勢などについて語った。

冒頭挨拶で仲田一郎会長は「建設業はかつて『3K』と呼ばれていたが、現在は『新4K』と呼ばれる業界改善の取り組みが進められている。また、日本は2050年までに脱炭素社会の実現を目指し、建築物の省エネ対策が推進されているが、その主役は電気だと思っている。本日の講話を通して、電気技術の生かし方や資格取得、進路選択の参考にしてほしい」と呼び掛けた。

講話では、棚原氏が自身の学生時代のエピソードなどを交え、業界に入った経緯を紹介。女性の立場から見た電気工事業界の現状や業務内容を説明し、資格取得の重要性にも触れた。「仕事の幅を広げ、顧客からの信用を得るためにも資格は大事。先生方が若いうちに資格を取るよう勧めるのは、社会人になると時間や体力

の面で勉強が難しくなるから」と話した。

また、会社が求める人材として、「挨拶をしっかり行い、ミスを隠さず、報告・連絡・相談を実践できること。素直で感謝の気持ちを伝えることが大切」とアドバイスした。

質疑応答では、「仕事で一番大変だったことは何か」との質問に、棚原氏は「体力や人間関係で苦労することはあるが、努力して電気を通した後、お客様から直接感謝の言葉をもらえることが、この仕事の良いところだと思っている」と答えた。

参加した波平貢伶弥さん（1年）は「考え方をプラス思考に変えることの大切さを学んだ。仕事で大変なことがあっても感謝の言葉をもらえるだけうれしいという話が印象に残った。人との関わりで、感謝の気持ちを伝えることを意識していきたい」と笑顔で話した。



電気科1、2年生約50人が話を聞いた

営業種目 { 電気・管・水道・防災・舗装  
土木一式・見積・設計・施工 }

**株式会社 川田電設産業**

代表取締役 **渡真利 剛**  
外従業員一同

〒906-0012 沖縄県宮古島市平良字西里1332番地の7  
電話(0980)72-9793(代) FAX(0980)72-1874

※※ でんき・元気で  
 明るい未来を創造 ※※

**YAMADEN**

---

**株式会社 山川電気**

《本社》〒902-0078  
 沖縄県那覇市識名2-15-15(101号)  
 TEL: 098-987-1420  
 FAX: 098-987-1418

《支店》〒901-0203  
 沖縄県豊見城市字長堂350-1  
 TEL: 098-856-1278  
 FAX: 098-856-1200

空調換気機器・音響機器・昇降機  
 要冷機器・設計施工・保守管理

**沖縄パナソニック特機株式会社**

代表取締役社長 **玉山憲是**

本 社 那覇市西2丁目15番1号  
 TEL 098-868-0131 FAX 098-868-6783  
 中部営業所 沖縄市美原2丁目25番11号  
 TEL 098-939-3891 FAX 098-939-3890

# 琉銀本店ビルで現場見学会

美里工業生が最新設備学ぶ



現場見学に参加した生徒ら（11日午前）

12月11日と12日、那覇市久茂地の琉球銀行本店ビルで、美里工業高校の生徒を対象に現場見学会を実施した。11日は午前と午後にクラスを分けて電気科2年生約50人が参加。12日は設備工業科の1、2年生約40人が新築ビルの最新設備などを見学した。

電管協の親泊政夫副会長は「日本は2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指しており、電気設備や機械設備は今後の25年でさまざまな形に変化していく面白い業界となる。その点を意識しながら見学し、将来の参考にしてほしい」と呼び掛けた。

（株）琉球銀行総務部の野里慈人次長は「県内の施工業者が3年半をかけて築き上げた施設で、設備の一つひとつにこだわりがある。見学を通して、そのこだわりを感じ取ってもらえたらうれしい」と話した。

見学に当たっては、（株）沖縄特電の友寄隆光氏らが工事概要を説明し、3D-CAD図面を用いて電源計画や通信計画、照明、配管などの機能を紹介した。旧本店ビル解体から新本店ビル建設までの一連の過程はタイムラプス動画で示し、那覇中心市街地で進めた大規模建築の流れを解説した。その後、生徒らは地下室の配管、屋上階の通信設備、執務室、中央監視室・防災センター、発電室などの設備機能を見て回った。

見学を終えて、電気科2年の嘉陽宗真さんは「銀行のセキュリティの高さに驚いた。授業で学んだ機器を実際に見ることができ、資料を読

むより頭に入ってきた」と感想を語った。富着結斗さんは「高所で作業する人の姿を見て、自分も電気工事に携われるよう資格取得を目指したいと思った」と話した。嘉保響綺さんは「発電機のスケールや建物全体の大きさにびっくりした。将来は電気関係の仕事に就きたいと考えているので、現場を見た経験を将来につなげたい」と笑顔を見せた。

琉銀本店ビルはSRC+RC造地上13階・地下2階建て、延床面積4万593㎡規模。自家発電機を備え、省エネルギーや省資源化による環境に配慮したZEB Oriented（ゼブ・オリエンテッド）の認定を受けている。



屋上階の通信設を見学



発電機の説明を受ける生徒たち

## 3D-CAD講習会を開催

対象は電気と空調・衛生



基本的な操作方法学ぶ

10月17日、那覇市の電管協会館で、協会会員企業の社員を対象とした3D-CAD講習会を開催した。午前には電気設備、午後には空調・衛生設備を対象とする2部構成で行われ、各部に4人ずつ、計8人が参加した。

講師は(株)ダイテックCAD事業本部CAD営業部九州事業所の飯田涼介氏が務め、同社が提供す

る3D-CADソフト「CADWe' 11 T f a s 1 4」の基本的な操作方法などを説明した。

講習会は、同ソフトを導入している協会会員企業の社員を対象に実施し、使用経験の浅い社員向けに内容を構成。参加者は実際の作業を通じて操作スキルの向上を図った。

飯田氏は「スピーディーに作図できるのが特徴。高さや部材などの情報を持たせた図面の作成が可能で、図としてだけでなく、取り合いの確認など二次利用にも活用できる。数量の拾い出しなど、情報抽出の面でもぜひ利用してほしい」と呼び掛けた。

## 公共事業労務費調査説明会を開催

調査の目的と手順、重要性を共有

10月24日、2025年度公共事業労務費調査に関する説明会を電管協会館で開催。会員企業が正確に調査を実施できるよう、調査目的や手順、提出書類の職種分類について説明した。講師は沖縄県電気工事業工業組合の平良修一業務課長が務め、会員17人が参加した。

平良氏は、県内設備関係3職種（電工、配管工、ダクト工）の労務単価について、資格や技能を必要とする職種でありながら普通作業員よりも安価となっている現状を説明。その上で、「この調査は次の年の単価を左右するもので、設計労務単価

は先追いではなく後追いで決まる。現在の実態を正確に把握し、その結果を基に翌年の単価が設定される」と述べ、調査の重要性を強調した。

参加者からは「知り合いの会社にも周知を図りたい。配信などがあれば離島や現場でも説明を見ることが出来る」などの意見が出た。



会員17人が参加した

確かな技術と地域貢献

**沖永開発株式会社**

代表取締役社長 末広良憲

【営業種目】

土木工事・交通安全施設設置工事・道路標識製作  
鋼構造物工事・プラント配管工事・水道施設工事  
電気工事・機械設備維持管理工事・溶接工事

SDGsパートナー

本社 〒901-2131 沖縄県浦添市牧港五丁目6番3号南海ビル3A-1  
電話 (098) 877-6399 (代) FAX (098) 878-6674  
事業本部 〒901-2302 沖縄県北中城村字渡口471-1  
電話 (098) 935-5801 (代) FAX (098) 935-5803

うちな~  
初の安全標識県産品認定

オリジナル標識等製作

確かな技術で地域・社会に貢献

総合建設業〈電気・管・土木・建築〉

一般社団法人 沖縄県電気管工事業協会 会員

**株式会社 紫電舎**

代表取締役 新城 永一郎

〒907-0002  
沖縄県石垣市字真栄里375-8  
TEL(0980)82-4811  
FAX(0980)83-1409

技術を通して叶えたい  
より豊かな地域社会を創造

**株式会社 大輝**

代表取締役 社長 平良 正

〒901-0231  
沖縄県豊見城市字我那覇 445 番地 12  
TEL:098-856-6482  
FAX:098-856-6483  
URL;https://taiki-oki.co.jp/

SDGsパートナー

# 意識向上を図りゼロ災決意

## 安全衛生大会を開催



玉那覇氏(左)と安慶名氏が講師を務めた

12月10日、那覇市的那覇地域職業訓練センターで「第43回安全衛生大会」を開催。会員企業から約70人が参加し、講演や指差呼称を通じて、安全意識の向上を図った。

仲田一郎会長は「日頃から安全衛生管理や年末年始の無災害運動に取り組んでいると思うが、改めて大会の趣旨を理解し、さらなる労働安全衛生の確保と労働災害ゼロへの決意を新たにしてほしい」と呼び掛けた。

大会では、沖縄労働局労働基準部健康安全課の玉那覇勝副主任地方産業安全専門官が「労働災害発生状況、改正労働安全衛生法等」について講話。2025年9月末時点で県内では5件の死亡災害が発生。建設従事者の死亡はゼロとしつつも、労働者としてカウントされない企業代表者が死亡する墜落事故が発生している状況を説明した。改正労働安全衛生法等に関しては、個

人事業者等に対する安全衛生対策、職場のメンタルヘルス対策、高齢者の労働災害防止の3項目を重点的に解説した。

基調講演では、建設業労働災害防止協会沖縄支部の安慶名秀樹専務理事が「事例から学ぶ労働災害防止対策」をテーマに、実際の死亡事故事例を紹介。また定期健康診断実施率について、全国や他業種と比較し「貴重な人材が病気で休職することは大きな痛手。人材は人財ととらえ、二次検診や産業医の面談を行い、職員健康保持に取り組んでほしい」と呼び掛けた。

指差呼称は、(株)高建設工業の宮城祐哉氏が担当。宮城氏の音頭に合わせ、参加者全員で年末年始労働災害防止運動スローガン「『年末』感謝の総点検 『年始』も笑顔で 無事故の発進」を唱和し、安全意識を再確認した。



参加者全員で安全スローガンを指差唱和した



2025年創業  
なまひら





株式会社  
**那覇電工**

代表取締役 比嘉幸宏

本店 那覇市若狭三十五ー一  
本社 豊見城市字与根三三ー一  
営業所 八重瀬町字東風平二三八四ー五

TEL 〇九八ー八五〇ー二四七八  
FAX 〇九八ー八五〇ー一六二二九



株式会社  
**比謝川電気**

代表取締役社長 村山博子

配電工事・電気・管・通信・見積・施工  
 道路情報表示装置設置工事  
 コイト電気株式会社 製品委託販売

本 社 嘉手納町字嘉手納二八四番地  
 読 谷 読谷村字古堅九二〇番地  
 総 務 〇九八ー九五六一二二番地  
 営 業 〇九八ー九五七一一六番地  
 部 〇九八ー九五七一一三番地



先進技術を以て地域社会に光を灯す

沖縄県知事許可(特-7)第94号 電気工事業・電気通信工事業

**光通信工業株式会社**

代表取締役 島袋 剛

〒901-2131 沖縄県浦添市牧港5-4-10  
TEL:(098)878-5111  
FAX:(098)870-1092

# 電管協創立70周年事業で台湾視察

2泊3日の日程で最新事例を確認

電管協創立70周年記念事業として、11月12日から14日の日程で台湾視察研修を実施した。親泊政夫副会長ら22人が参加し、台北、台南、高雄の3都市を巡り、省エネ関連施設や自動化設備製造工場、歴史的建造物などを視察した。

台北では地上101階建ての超高層ビル「台北101」を訪れ、バックヤードを視察した。台北101では廃棄物管理で削減されたCO<sub>2</sub>によって得られる「カーボンクレジット」と、毎年行っ

ているカウントダウン花火イベントで排出されるCO<sub>2</sub>とを差し引きする取り組みを行っている。

台南では蓄電池等の部材製造ユニットを制作する「シムテック」を訪問し、会社概要や製品説明を受けた。その後、工場見学とレーザー加工機のデモンストレーションなどを通じ、関連技術への理解を深めた。

高雄では歴史的建造物や港湾都市としての発展の様子を視察した。

## 研修スナップ





### 南西電設株式会社

代表取締役社長 親泊政夫

本社 電話 (098) 863-1600  
 〒900-0016 那覇市前島二丁目一五番二七号  
 Asset前島一F

本社 電話 (098) 878-1357  
 〒901-1326 浦添市宮城六丁目二十一番五号  
 電話 (098) 878-1357

<http://www.nanseidc.co.jp/>

私達は資源と環境を大切にします。

ボイラー設備・空調設備・ステンレス加工  
 管工事・電気工事・土木工事



### 有限会社 吉田産業

代表取締役 伊良部 幸男

〒906-0012 沖縄県宮古島市平良字西里1331-16  
 TEL(0980)72-1661/FAX(0980)72-4086  
<http://www.yoshidasangyou.com>



### 有限会社 田端設備工業

会長 田端 盛喜  
 代表取締役 田端 智

本社  
 〒901-1302  
 沖縄県与那原町字上与那原408-2  
 TEL(098)946-3691(代) FAX(098)945-4339  
 宜野座支店  
 〒904-1302  
 沖縄県宜野座村字宜野座709番地

# 26年度沖縄振興予算案は2647億円

## 公共事業関係費に1224億円確保

政府は12月26日に閣議を開き、2026年度の沖縄振興予算案を25年度当初比約5億円増の総額2647億円に決定した。前年度当初予算を上回ったのは10年ぶり。公共事業関係費は25年度当初より6億円増の1224億円で、道路や港湾、空港などの整備、災害に強い県土づくり、首里城正殿復元に向けた取り組みを進める。公共投資は25年度当初と同規模の1652億円を確保した。沖縄振興一括交付金は736億円で25年度当初に比べ15億円の増額となった。新規には、沖縄振興推進調査費に5000万円などが盛り込まれた。

沖縄振興一括交付金は、沖縄振興公共投資交付金（ハード交付金）が25年度当初比10億円増の390億円、沖縄振興特別推進交付金（ソフト交付金）が同5億円増の347億円。ソフト交付金を補完し、市町村等の事業を推進するため、国が直接交付する沖縄振興特定事業推進費には、25年度当初と同額の95億円を計上した。

沖縄科学技術大学院大学（OIST）学園関連経費には200億円を盛り込み、更なる産学連携やスタートアップ創出に向けた施設整備などを支援する。

公共投資は道路に363億円、港湾に150億円、空港に114億円、住宅都市環境に73億円、水道廃棄物処理等に97億円、農林水産基盤に182億円などを計上し、25年度当初とほぼ同額を確保した。公共事業関係費は25年度当初と同規模で、26年秋完成予定の首里城正殿復元工事を進める。公立文教施設の関連経費は25年度当初より10億円減額となった。「GW（ゲートウェイ）2050プロジェクト」構想の早期実現に向けて駐留軍用地跡地先行取得事業に51億円、駐留軍用地跡地利用推進経費に5億円、沖縄航空関連産業クラスター形成促進事業に1億円などを計上した。このほか、北部振興事業費（非公共）に50億円、沖縄不発弾等対策経費に28億円などを計上した。

新規には、所有者不明土地の

有効活用を図り、関係自治体へ所有者不明土地管理制度などを積極的に活用するために必要な支援を行い、問題解決に向けた取り組みを推進する沖縄所有者不明土地対策事業に4800万円、先端医療技術などのシーズの掘り起こしや橋渡しなどにより、研究開発から社会実装までを支援する沖縄先端医療技術基盤形成促進事業に6億円などを盛り込んだ。

26年度沖縄振興予算案に関して玉城デニー知事は「25年度当初予算額から5億円の増額となり、ソフト交付金とハード交付金も増額となった。さらに、新たに次世代情報通信基盤実装や先端医療技術基盤形成促進に係る経費などが計上されるとともに、25年度に別立てで計上された駐留軍用地跡地先行取得、離島住民などの移動費負担軽減に係る経費等が一定額確保された」と評価。また「25年度補正予算においては、ハード交付金で64億円、公共事業等に係る防災・減災・国土強靱化の推進などで175億円など291億円が計上され、26年度予算案と合わせると2983億円となった。国の財政事情が厳しい中、予算案が10年ぶりに前年度比増額となったことは配慮がなされたものと認識しており、感謝する」とのコメントを発表した。

26年度沖縄振興予算案（一部抜粋）

（単位：百万円）

事 項	26年度案	25年度	増減比
○沖縄振興交付金事業推進費	73,642	72,143	2.1%
沖縄振興特別推進交付金	34,659	34,159	1.5%
沖縄振興公共投資交付金	38,983	37,984	2.6%
○沖縄科学技術大学院大学学園関連経費	20,035	20,082	△0.2%
○公共事業関係費等※	125,418	125,839	△0.3%
◇公共事業関係費※	122,384	121,843	0.4%
・治山治水	5,227	5,227	増減なし
・道路	36,286	36,109	0.5%
・港湾空港※	26,390	26,390	増減なし
・住宅都市環境	7,310	7,331	△0.3%
・水道廃棄物処理等	9,700	9,315	4.1%
・農林水産基盤	18,163	18,163	増減なし
・社会資本総合整備	16,689	16,689	増減なし
・施設費	3,852	5,198	△25.9%
○戦後処理経費	2,940	2,796	5.2%
○沖縄振興特定事業推進費	9,500	9,500	増減なし

（注）四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない  
 ※自動車安全特別会計空港整備勘定計上分含む

◆第3回理事会次第◆

日時:令和7年10月14日(火)14:00~15:00

場所:電管協会館3Fホール

議 題

〔審議事項〕

1. 協会加入の件
2. 第7回おきなわ建設フェスタの開催の件
3. 工業高校生現場見学会の実施の件

〔報告・その他事項〕

1. 公共事業労務費調査の適正化対策について
2. 清掃ボランティアについて(経審加点对象事業)
3. 沖縄総合事務局との意見交換会について
4. 工業高校担当教諭との意見交換会について
5. 県庁舎改修工事に関する意見交換会について
6. 県道路管理課との意見交換会について
7. 創立70周年記念チャリティゴルフコンペについて
8. 電設協10月理事会について
9. 日空衛第2回理事会について
10. 日空衛九州沖縄支部第65回通常総会について
11. 国土交通大臣表彰について
12. 3D-CAD レプロ体験セミナーについて
13. ゆいま〜る献血について
14. 委員会報告について
  - (1) 第1回担い手確保・育成委員会
  - (2) 第2回安全対策委員会
  - (3) 第2回運営・広報委員会
15. 上半期正味財産増減計算書について
16. 職務執行状況報告について
17. 監事講評

人に優しく調和のとれた  
社会システムを創る



**光電気工事株式会社**

代表取締役会長 金城 稔  
代表取締役社長 金城 正司

本 社 沖縄県那覇市字大道78番の7  
支 店 沖縄県宜野湾市我我古408-1  
〒901-2214 TEL(098)898-4111(代)  
FAX(098)897-1299

〔土木・電気・水道・排水・衛生・空調〕  
〔御見積・設計・施工・設備資材販売〕

石垣市給水工事指定工事社  
石垣市排水工事指定工事社  
ダイキン空調機器特約店  
<ルームエアコン販売・取付>



**株式会社 三光電設**

代表取締役社長 粟盛 卓

本社:沖縄県石垣市字平得212番地  
☎(0980)82-3836 FAX(0980)83-2047  
三光電材センター:沖縄県石垣市字平得207番地1  
☎(0980)83-5423 FAX(0980)83-5329



ISO9001:2015 認証取得  
ISO14001:2015 認証取得



**株式会社奥原電設**

代表取締役社長 奥原 聡

営業種目  
※送配電設備・屋内配線・弱電設備  
※電気土木・設計・積算・施工  
※沖縄電力配電線工事

本 社 那覇市字与儀三八〇番地の八  
〒901-0076 電話(098)854-1967  
FAX(098)831-4712  
支 店 豊見城市長堂一八〇番地二  
〒901-0033 電話(098)848-6882  
FAX(098)848-6882  
支 店 沖繩市美原一丁目一八番二六号  
〒904-2555 電話(098)934-0039  
FAX(098)934-0039

## ◆第4回理事会次第◆

日時:令和7年12月9日(火)14:00~15:00

場所:電管協会館3Fホール

### 議 題

#### [報告・その他事項]

1. 沖縄県土木建築部との意見交換会について
2. 創立70周年記念台湾視察研修について
3. 第7回おきなわ建設フェスタについて
4. 中北部地区・宮古地区清掃ボランティアについて
5. (一社)日本電設工業協会会員大会について
6. (一社)日本空調衛生工事業協会第3・4回理事会について
7. 秋の叙勲・褒章について
8. 高校生現場見学会について
9. 新年賀詞交歓会の開催について
10. 職務執行状況報告について
11. 監事

## 新入会員紹介



### 株式会社りゅうせき建設

(浦添市)

#### 《正会員》

代表取締役

安慶名 健

#### ■略 歴

1991年琉球石油株式会社(現りゅうせき入社)  
 2018年株式会社りゅうせき建設へ異動  
 2019年同社代表取締役社長 就任  
 現在、株式会社りゅうせき 取締役  
 沖縄経済同友会 常任幹事・未来創造委員長  
 沖縄県建設業協会 理事・浦西支部 副支部長  
 沖縄住宅産業協会 理事

■出身地 うるま市(旧具志川市)  
 ■座右の銘 一期一会  
 ■趣 味 ゴルフ

ISO9001・ISO14001 認証取得



### 不二宮工業株式会社

代表取締役 宮城 剛

<http://fujimiya-k.co.jp>  
 E-mail:f-k@fujimiya-k.co.jp

本 社 〒901-2203  
 沖縄県宜野湾市野嵩二丁目2番7号  
 電話(098)893-0446 FAX(098)935-5771  
 事業本部及び工場 〒901-2313  
 沖縄県北中城村字熱田1985番地  
 電話(098)935-5755(代) FAX(098)935-5771



株式  
 会社

### 南西工業

代表取締役 仲村公雄

沖縄県石垣市字真栄里二四五番地七  
 TEL(098)821-2716  
 FAX(098)821-6469

電気設備・衛生設備・空調設備・土工工事

時代と共に創意の旅



代表取締役社長 伊佐 一

本 社:那覇市長田2丁目5番4号  
 TEL(098)832-1421  
 拠 点:大里事業所 東京支店 大阪営業所

# 令和7年度

# 各委員会活動状況

一般社団法人 沖縄県電気管工事業協会

## 令和7年度 第2回安全対策委員会 報告

日時：令和7年9月2日（火）12：00～

場所：電管協会館3Fホール

### 【議題】

#### 1. 安全パトロール現場選定について

令和7年度の安全パトロールについて、那覇・南部地区2現場と中・北部地区3現場の候補から選定することとした。検討の結果、那覇・南部地区は「県営牧港団地建替工事」が決定した。中・北部地区については「多世代交流施設」と「山内市営住宅建替工事」の進捗状況をしばらく見極め、最適な現場を金城委員長に一任することで了承を得た。

#### 2. チェックリストの確認について

2年前に安全パトロールのチェックリストを改定したことから、今後使用するにあたり、改善すべき点がないか確認をした。比嘉幸宏委員から、創意工夫欄のSDGs等について記載する項目は常識となりつつあることから、内容について更新が必要ではないかとの意見があった。

#### 3. 安全功労者会長表彰基準について

成績優秀者に送る安全功労者表彰基準について、今年度4月に前委員で開催された安全対策委員会にて、「過去5年以内に受賞した代理人を対象外」としていたが、技術者不足の状況を鑑みて「過去3年以内に受賞した代理人は対象外」と改定したことを説明し、新たな委員へ情報共有した。

(出席者) 金城正司 比嘉幸宏 新垣敏哉 伊良部幸男 新城永一郎 宜保勝 知念徹

(欠席者) 田端智

特定建設業・土木・建築・管・電気・舗装・解体

 (株)砂盛工業

代表取締役 砂川 盛 栄  
専務取締役 砂川 勝  
外社員一同

〒907-0014 石垣市新栄町71-3  
TEL 82-1125/FAX 82-8731

ISO 9001  
ISO14001  
認証取得

〒900-0015  
F 電 沖 縄 県 那 覇 市 久 茂 地 三 丁 目 二 番 一 号  
A X 話 (098) 862-1423  
八六二一四二三五  
〇九八八六二一四二三五

代表取締役 野原 武

コ 特 電  
会 株 社 式  
沖 縄 特 電

確かな技術と安全管理  
— 設計・施工・保守・管理・販売 —

確かな技術で信頼の電気トリックワーク

 金城電気工事(株)

代表取締役社長 吉濱 功佑

〒900-0002  
那覇市曙2丁目23番23号

 TEL (098)867-7311  
FAX (098)867-7323

おきなわSDGsパートナー  
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

## 令和7年度 第2回運営・広報委員会 報告

日時：令和7年10月7日（火）12：00～  
場所：電管協会館3Fホール

### 【議題】

#### 1. 会報第86号の発行について

表紙の写真については、6案の中から「那覇市大名市営住宅第4期建替工事」を選定した。  
なお、第2候補として開邦高校・中学校校舎改築工事（第2期）を選定とした。

「視点」については、5案の中から「PPP・PFIの県内設備業者参画の可能性に関する展望について」というテーマで(株)りゅうぎん総合研究所渡久地社長に依頼することとした。

「新春会長対談」については、沖縄防衛局調達部 上谷(かみたに)康晴部長に今後の発注方針や働き方改革に向けた取り組み等をテーマに依頼することとした。

#### 2. 電管協創立70周年記念誌について

今回は創立70周年記念誌の表紙について検討を行った。沖縄建設新聞からデザインの提案があり、記念広告にて使用した名嘉睦稔氏の版画を記念誌でも使用できることとなったので、3案の中から協議した。今後は執行部に一任することです承を得た。

(出席者) 福田郁絵 久高将泰 松島寛行 野原武 宜保勝 知念徹  
(オブザーバー) 宜保直也 (沖縄建設新聞) 花城侑宣 (沖縄建設新聞)  
(欠席者) 奥原聡

## 令和7年度 第1回担い手確保・育成委員会 報告

日時：令和7年8月25日（月）16：00～  
場所：電管協会館3Fホール

### 【議題】

#### 1. 雇用改善事業推進委員会について

沖縄労働局助成金センターへ人材確保支援助成金の申請をするにあたり、「事業推進委員会」の設置が義務付けられていることから、担い手確保・育成委員会の委員で構成し、申請することを説明した。また助成金の内容や条件、令和6年度には合計1,887,000円の助成金支給があった旨報告を行った。

#### 2. 高校生現場見学会の現場選定について

今年度の高校生現場見学会を実施するにあたり、中城御殿など5現場を候補とし検討をした。

1. 中城御殿新築工事 2. 県営牧港団地建替工事 3. 山内市営住宅建替工事  
4. 多世代交流施設 5. 沖縄美ら海水族館（施設見学）

県の大型工事として中城御殿が候補に上がったが、工期が延びる見込みで今年度の実施が不透明である点が懸念された。提示した5候補以外に、民間工事ではあるが、会員企業も多く関わっている「琉球銀行新本店ビル建替工事」の見学を第1候補として今後情報収集することとした。

#### 3. 建設産業合同企業説明会2025について

去る6月6日に開催された、「建設産業合同企業説明会2025」について、電管協が大型バスを手配し、6校9学科326人の工業高校生徒・教員を送迎したと説明。会員企業の出展は25社で過去最多となったと報告した。

(出席者) 親泊政夫 吉濱功佑 宮城剛 島袋清人 高里盛春 宜保勝 知念徹

# 電管グリーン入会のご案内

55年以上の歴史ある電管協のゴルフコンペに入会しませんか。

ゴルフを楽しみながら会員相互の親睦を深め、組織の充実強化、設備業界の発展を目指します。会社単位での入会となりますので、コンペはどなたでも参加できます。初心者から上級者まで、年齢は問いません。

詳しくは、電管協事務局まで

電話：098（868）－8400

E-mail：[info@denkankyo.or.jp](mailto:info@denkankyo.or.jp)

## NICE SHOT!



### ◇大会要項（抜粋）

1. 開催日時：原則毎月第3木曜日
2. 開催場所：月ごとに変更
3. 会費：年間25,000円
4. 競技方法：18Hストロークプレー  
ハンディキャップ方式



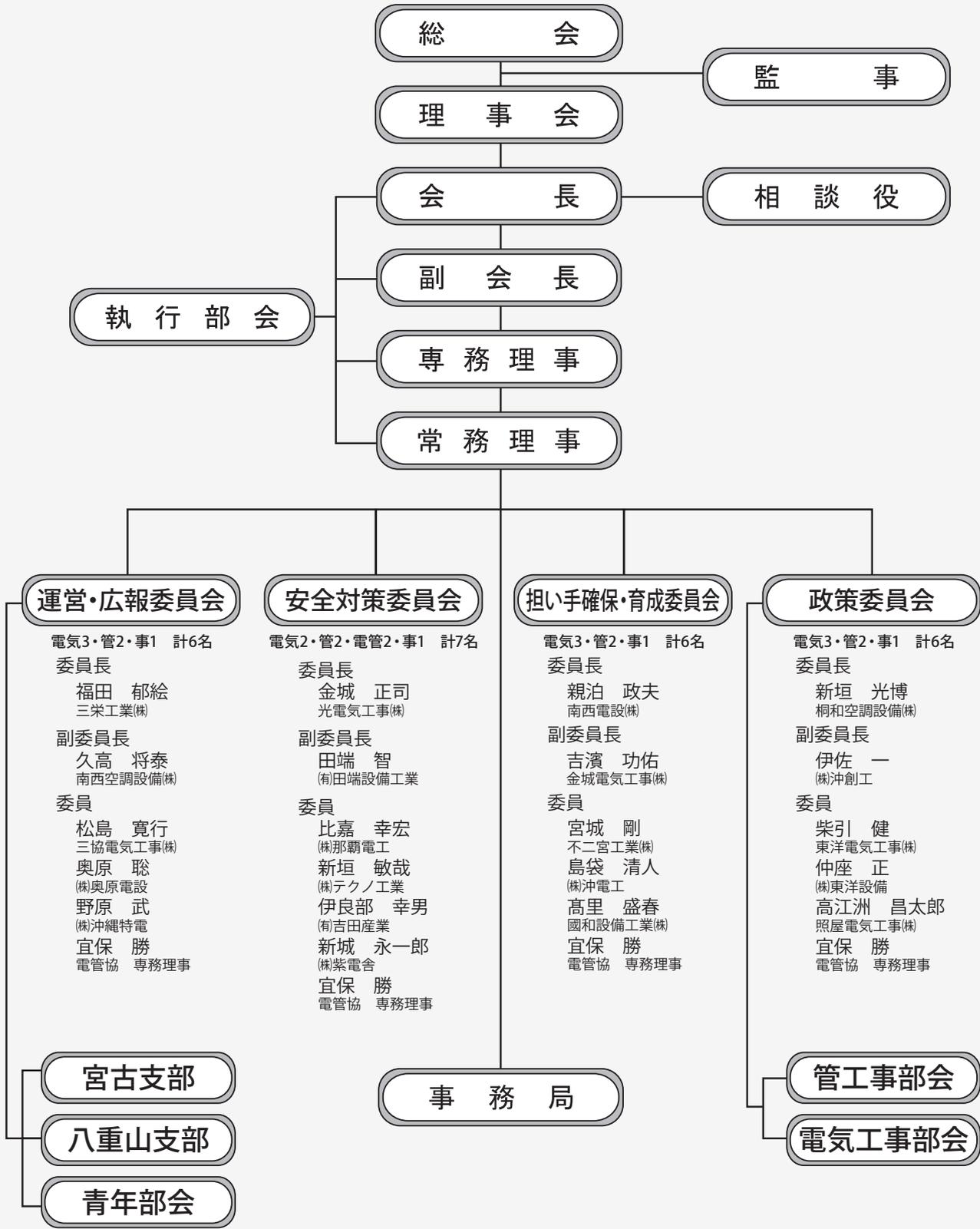
55周年記念大会の参加者ら

# 電管協グリーンコンペ結果報告(令和7年7月~12月)

1968年(昭和43年)スタート

<p><b>第679回</b></p> <p>開催日 7月17日(木)</p> <p>場 所 琉球ゴルフ倶楽部</p> <p>成 績</p> <p><b>優勝</b> 金城聖作</p> <p><b>準優勝</b> 浦崎直哉</p> <p><b>第3位</b> 知念徹</p> <p><b>ベストグロス</b> 照屋保</p> <p><b>ドラコン賞</b> 川満常治 金城聖作</p> <p><b>ニアピン賞</b> 金城聖作 照屋保 新垣敏哉 前代孝夫</p>	<p><b>第680回</b></p> <p>開催日 8月21日(木)</p> <p>場 所 琉球ゴルフ倶楽部</p> <p>成 績</p> <p><b>優勝</b> 新垣昌彦</p> <p><b>準優勝</b> 小波津隆二</p> <p><b>第3位</b> 比嘉一貴</p> <p><b>ベストグロス</b> 金城一志</p> <p><b>ドラコン賞</b> 小波津隆二</p> <p><b>ドラ短賞</b> 金城政義</p> <p><b>ニアピン賞</b> 比嘉一貴 金城一志 渡嘉敷靖</p>
<p><b>第681回</b></p> <p>開催日 9月18日(木)</p> <p>場 所 琉球ゴルフ倶楽部</p> <p>成 績</p> <p><b>優勝</b> 知念徹</p> <p><b>準優勝</b> 松島寛行</p> <p><b>第3位</b> 岸本吏</p> <p><b>ベストグロス</b> 新城永一郎</p> <p><b>ドラコン賞</b> 伊澤智</p> <p><b>ドラ短賞</b> 伊藝尚人</p> <p><b>ニアピン賞</b> 岸本吏 伊澤智</p>	<p><b>第682回</b></p> <p>開催日 10月16日(木)</p> <p>場 所 沖縄カントリークラブ</p> <p>成 績</p> <p><b>優勝</b> 小波津隆二</p> <p><b>準優勝</b> 嘉数芳明</p> <p><b>第3位</b> 知念徹</p> <p><b>ベストグロス</b> 野原武</p> <p><b>ドラコン賞</b> 浦崎直哉</p> <p><b>ドラ短賞</b> 知念徹</p> <p><b>ニアピン賞</b> 石川俊三 知念徹 照屋保 石川俊三</p>
<p><b>第683回</b></p> <p>開催日 11月20日(木)</p> <p>場 所 那覇ゴルフ倶楽部</p> <p>成 績</p> <p><b>優勝</b> 前代孝夫</p> <p><b>準優勝</b> 吉濱功佑</p> <p><b>第3位</b> 豊島博之</p> <p><b>ベストグロス</b> 浦崎直哉</p> <p><b>ドラコン賞</b> 照屋保</p> <p><b>ドラ短賞</b> 金城正司</p> <p><b>ニアピン賞</b> 前代孝夫 浦崎直哉 照屋保 金城正司</p>	<p><b>第684回</b></p> <p>開催日 12月18日(木)</p> <p>場 所 那覇ゴルフ倶楽部</p> <p>成 績</p> <p><b>優勝</b> 照屋保</p> <p><b>準優勝</b> 新垣敏哉</p> <p><b>第3位</b> 金城正司</p> <p><b>ベストグロス</b> 比嘉一貴</p> <p><b>ドラコン賞</b> 金城聖作</p> <p><b>ドラ短賞</b> 高江洲昌太郎</p> <p><b>ニアピン賞</b> 新垣敏哉 金城正司 金城聖作 吉濱功佑</p>

# 運営機構図



# 一般社団法人 沖縄県電気管工事業協会

## 役員名簿

(令和7年・8年度)

役 職	氏 名	会 社 名	役 職
会 長	仲 田 一 郎	ヤ シ マ 工 業 (株)	社 長
副 会 長	親 泊 政 夫	南 西 電 設 (株)	社 長
〃	新 垣 光 博	桐 和 空 調 設 備 (株)	社 長
〃	金 城 正 司	光 電 気 工 事 (株)	社 長
〃	福 田 郁 絵	三 栄 工 業 (株)	社 長
理 事	松 島 寛 行	三 協 電 気 工 事 (株)	会 長
〃	田 端 智	(有) 田 端 設 備 工 業	社 長
〃	伊 佐 一	(株) 沖 創 工	社 長
〃	吉 濱 功 佑	金 城 電 気 工 事 (株)	社 長
〃	奥 原 聡	(株) 奥 原 電 設	社 長
〃	宮 城 剛	不 二 宮 工 業 (株)	社 長
〃	比 嘉 幸 宏	(株) 那 覇 電 工	社 長
〃	久 高 将 泰	南 西 空 調 設 備 (株)	社 長
〃	柴 引 健	東 洋 電 気 工 事 (株)	社 長
〃	島 袋 清 人	(株) 沖 電 工	社 長
〃	仲 座 正	(株) 東 洋 設 備	社 長
〃	野 原 武	(株) 沖 縄 特 電	社 長
〃	高 江 洲 昌 太 郎	照 屋 電 気 工 事 (株)	社 長
〃	高 里 盛 春	國 和 設 備 工 業 (株)	社 長
〃	新 垣 敏 哉	(株) テ ク ノ 工 業	社 長
〃	伊 良 部 幸 男	(有) 吉 田 産 業	社 長
〃	新 城 永 一 郎	(株) 紫 電 舎	社 長
専 務 理 事	宜 保 勝	協 会 事 務 局	専 務 理 事

監 事	比 嘉 広 明	比 嘉 工 業 (株)	会 長
〃	山 川 光 雄	(株) 山 川 電 気	社 長

# 会員名簿

①地区名	②会社名	③代表者名	④郵便番号	⑤所在地	
		⑥電話番号	⑦FAX番号	⑧創業年月日	⑨I S O (取得年月日)
		⑩メールアドレス		⑪ホームページ	

〔南部地区〕	株式会社 アサヒプラント	中 本 宏 (098)858-0388 soumu@asahiplant.jp	〒901-0156 (098)889-0079	那覇市田原4丁目8番地2 昭和61年1月21日 9001:2000 (H15年10月11日)
	株式会社 安謝橋電機	平 良 博 (098)877-7802 info@ajyabashidenki.jp	〒901-2101 (098)877-7727	浦添市西原2-1-3 昭和41年4月1日 9001:2000 (H15年7月16日)
	株式会社 イチゴ	國 場 幸 貞 (098)875-0801 ichigo15@ii-okinawa.ne.jp	〒901-2101 (098)875-0810	浦添市西原5丁目1番9号 昭和54年8月17日
	株式会社 浦城産業	又 吉 正 (098)878-7271 urashiro@nirai.ne.jp	〒901-2113 (098)878-8171	浦添市大平2-9-1 昭和59年11月2日 9001:2000 (H16年9月21日)
	株式会社 大城組	仲 西 聰 (098)877-3625 k-takayama@oshirogumi.co.jp	〒901-2122 (098)876-3403	浦添市勢理客4-18-5 大正9年7月1日 9001:2000 (H13年3月15日)
	株式会社 オカノ	平 良 和 彦 (098)867-1633 setsubi-kouji@okinawa-okano.co.jp	〒900-0003 (098)868-0816	那覇市安謝1丁目23番8号 昭和58年10月8日 9001:2000 (H13年6月11日) <a href="http://okinawa-okano.co.jp">http://okinawa-okano.co.jp</a>
	株式会社 沖永開発	末 広 良 憲 (098)877-6399 shiroma-k@okieidev.co.jp	〒901-2131 (098)878-6674	浦添市牧港5-6-3 南海ビル3A-1号 昭和45年3月11日 9001:2000 (H13年3月27日) 14001:2004(H20年11月10日) <a href="http://www.okieidev.co.jp/">http://www.okieidev.co.jp/</a>
	株式会社 沖創工	伊 佐 一 (098)852-7070 okisokou@okisokou.co.jp	〒902-0077 (098)852-7072	那覇市長田2-5-4 昭和62年12月16日 9001:2000 (H15年2月19日) <a href="http://www.okisokou.co.jp/">http://www.okisokou.co.jp/</a>
	株式会社 沖電工	島 袋 清 人 (098)835-9888 soumuka@okidenko.co.jp	〒900-0025 (098)835-3627	那覇市壺川2-11-11 昭和43年6月12日 9001:2000 (H14年3月20日) <a href="http://www.okidenko.co.jp/">http://www.okidenko.co.jp/</a>
	沖電水工事 株式会社	當 山 雅 治 (098)867-6311 soumu.2@okidensui.co.jp	〒900-0016 (098)868-3282	那覇市前島2-1-10 昭和31年4月1日 9001:2000 (H15年7月14日) 14001:2015 (H26年4月22日) <a href="https://okidensui.co.jp">https://okidensui.co.jp</a>
	株式会社 沖縄工業	棚 原 博 (098)853-6507 oki-5134@tulip.ocn.ne.jp	〒902-0072 (098)853-8500	那覇市真地197-7 昭和57年8月31日 9001:2000 (H15年8月15日)
	株式会社 沖縄工設	大 嶺 健 一 郎 (098)877-0504 okikou-5@hyper.ocn.ne.jp	〒901-2111 (098)874-4626	浦添市字経塚633 昭和56年4月10日 9001:2000 (H16年3月9日)
	株式会社 沖縄計装工事	安 里 康 伸 (098)874-5620 ksokoji@mocha.ocn.ne.jp	〒901-2101 (098)874-5621	浦添市西原5丁目45番1号 昭和59年8月25日
	沖縄水質改良 株式会社	天 願 智 一 (098)886-6321 <a href="https://www.osk-kk.co.jp">https://www.osk-kk.co.jp/</a>	〒903-0804 (098)886-6322	那覇市首里石嶺町3-8-1 昭和48年6月
	株式会社 沖縄ダイケン	山 盛 博 文 (098)-876-5910 <a href="http://www.oki-daiken.co.jp/">http://www.oki-daiken.co.jp/</a>	〒900-0006 (098)876-5911	那覇市おもろまち1-1-12 昭和48年1月10日
	株式会社 沖縄特電	野 原 武 (098)862-4235 mein-1@tokuden.jp	〒900-0015 (098)862-2604	那覇市久茂地3-21-1 昭和48年4月4日 9001:2000 (H13年9月1日)
沖縄パナソニック特機 株式会社	玉 山 憲 是 (098)868-0131 uehara.hironobu@jp.panasonic.com	〒900-0036 (098)868-6783	那覇市西2-15-1 昭和46年7月1日	
株式会社 奥原電設	奥 原 聡 (098)854-9676 okuden-e@crocus.ocn.ne.jp	〒902-0076 (098)840-6969	那覇市与儀380-8 昭和53年12月28日 9001:2000 (H14年12月4日)	

①地区名	②会社名	③代表者名	④郵便番号	⑤所在地	
		⑥電話番号	⑦FAX番号	⑧創業年月日	⑨ISO(取得年月日)
		⑩メールアドレス		⑪ホームページ	

〔南部地区〕	技研工業 株式会社	國 仲 昌 典	〒900-0002	那覇市曙3-4-6		
		(098)861-2554	(098)861-2404	昭和59年9月6日	9001:2015(H17年11月26日) 14001:2015(H24年2月24日) 45001:2018(R2年11月26日)	
		okinawa@gknkk.co.jp				
	久建工業 株式会社	久 米 清 博	〒901-0152	那覇市小禄2丁目6番地11		
		(098)857-2992	(098)857-2801	昭和61年10月1日	9001:2000(H15年2月19日)	
		kyuken@kyuken-k.co.jp				
	株式会社 きらり電設	喜 納 政 貴	〒900-0012	那覇市泊2丁目20番地1		
		(098)894-7244	(098)894-7010	平成13年5月18日		
		main@kirari-d.co.jp		http://www.kirari-d.co.jp/		
	金城電気工事 株式会社	吉 濱 功 佑	〒900-0002	那覇市曙2-23-23		
		(098)867-7311	(098)867-7323	昭和28年4月1日	9001:2015(H15年8月15日) 14001:2015(H25年5月2日)	
		kec@kec-eng.com		http://www.kec-eng.com		
	有限会社 金星電設	渡 慶 次 和 美	〒902-0072	那覇市字真地45		
		(098)855-3129	(098)855-9628	昭和44年1月1日		
	興南施設管理 株式会社	屋 良 学	〒901-2131	浦添市牧港1-60-6		
		(098)877-7269	(098)878-6566	昭和52年5月25日	9001:2000(H14年5月15日)	
		soumu@konan-sk.co.jp				
	國和設備工業 株式会社	高 里 盛 春	〒900-0015	那覇市久茂地3-21-1 國場ビル10階		
		(098)863-0100	(098)863-0394	昭和52年7月1日	9001:2000(H15年5月16日)	
soumubu@kokuwa-s.co.jp		http://www.kokuwa-s.jp/				
三栄工業 株式会社	福 田 郁 絵	〒900-0001	那覇市港町3-2-8			
	(098)868-0191	(098)862-4314	昭和32年4月2日	9001:2000(H16年1月29日)		
	san-ei@san-ei-kogyo.com		http://www.san-ei-kogyo.com/			
三協電気工事 株式会社	松 島 寛 和	〒900-0005	那覇市字天久903			
	(098)868-8141	(098)868-2209	昭和27年4月8日	9001:2000(H14年8月26日)		
尚平工業 株式会社	平 良 明 子	〒901-0146	那覇市具志3-17-7			
	(098)857-8851	(098)858-1766	昭和46年4月10日	9001:2000(H15年8月13日)		
	shohei21@muse.ocn.ne.jp					
株式会社 新共電気工業	新 垣 勇 誠	〒902-0075	那覇市字国場1183-8			
	(098)855-5589	(098)889-4125	昭和40年5月1日			
	sinkyoo@woody.ocn.ne.jp					
株式会社 ゼネラル電設	新 川 秀 盛	〒903-0802	那覇市首里大名町1-126-6			
	(098)887-3012	(098)885-7885	昭和43年12月12日			
	zeneraru@nirai.ne.jp					
株式会社 祖慶電設工業	平 良 愛 子	〒901-0152	那覇市小禄3丁目10番地3			
	(098)857-5724	(098)858-2437	昭和53年12月11日	9001:2000(H17年9月27日)		
	sokei.at@basil.ocn.ne.jp		https://www.sokei.okinawa/			
合資会社 第一設備	武 村 健	〒902-0076	那覇市与儀2-12-25			
	(098)832-9617	(098)832-5766	昭和41年5月15日			
	okuma-ds@m1.cosmos.ne.jp					
株式会社 大輝	平 良 正	〒901-0231	豊見城市我那覇445番地12			
	(098)856-6482	(098)856-6483	平成6年5月12日			
			https://taiki-oki.co.jp			
株式会社 太閤建設	浦 崎 家 三	〒900-0006	那覇市おもろまち4-20-16			
	(098)951-0885	(098)865-2585	昭和48年4月5日	9001:2000(H14年12月20日)		
	taiken@nirai.ne.jp		https://taikoukensetu.ti-da.net/			
大成設備工業 株式会社	狩 俣 吉 信	〒903-0804	那覇市首里石嶺町4-444-6			
	(098)871-4031	(098)871-4032	昭和59年7月2日	9001:2000(H14年12月26日) 14001:2004(H28年10月25日)		
	soumu@taisei47.jp		http://taisei47.jp			
大和電工 株式会社	宮 里 敏 彦	〒900-0031	那覇市若狭3丁目45番10号			
	(098)869-4048	(098)869-4041	昭和42年5月20日			
	daidenko@jassmin.ocn.ne.jp					

①地区名	②会社名	③代表者名	④郵便番号	⑤所在地	
		⑥電話番号	⑦FAX番号	⑧創業年月日	⑨ISO (取得年月日)
		⑩メールアドレス		⑪ホームページ	

〔南部地区〕	有限会社 田端設備工業	田 端 智	〒901-1302	与那原町字上与那原408-2	
		(098)946-3691	(098)945-4339	昭和52年11月15日	
		tabata_s@r7.dion.ne.jp			
	照屋電気工事 株式会社	高江洲 昌太郎	〒903-0804	那覇市首里石嶺町3-32-3	
		(098)886-2256	(098)884-3979	昭和47年4月6日	9001:2000 (H15年2月27日) 14001:2004 (H17年8月5日)
		teruyadenki@teruyadenkikouji.co.jp		http://www.teruya-denkikouji.jp/	
	株式会社 東部電気土木	神 谷 光 准	〒901-1302	与那原町字上与那原398	
		(098)945-2043	(098)945-1738	昭和43年12月1日	9001:2000 (H14年3月29日)
		honsya@tobudenki.co.jp			
	株式会社 東洋設備	仲 座 正	〒900-0005	那覇市天久1122	
		(098)868-6831	(098)861-5464	昭和43年9月18日	9001:2000 (H16年11月16日)
		eigyouto@toyosetsu.co.jp		http://www.toyosetsu.co.jp/	
	桐和空調設備 株式会社	新 垣 光 博	〒900-0002	那覇市曙1-8-1	
		(098)861-1751	(098)867-0364	昭和28年3月10日	14001:2013 (H25年3月6日)
		mail@dowa-k.co.jp		http://www.dowa-k.co.jp/	
	株式会社 永山組	阪 井 邦 雄	〒900-0001	那覇市港町2-14-7	
		(098)867-3387	(098)867-3832	昭和23年2月12日	
	株式会社 那覇電工	比 嘉 幸 宏	〒900-0031	那覇市若狭3-15-1	
		(098)868-8674	(098)861-1961	昭和50年5月15日	9001:2000 (H14年10月21日)
enahaden@nahadenkou.co.jp		https://www.nahadenkou.co.jp/			
南光開発 株式会社	玉 城 功 佳	〒902-0075	那覇市国場1185-6		
	(098)855-7819	(098)855-7829	昭和63年5月26日		
南西空調設備 株式会社	久 高 将 泰	〒900-0004	那覇市銘苅1-10-12		
	(098)864-1125	(098)864-1126	昭和47年12月11日	9001:2000 (H15年10月29日)	
	nansei@mco.ne.jp				
南西電設 株式会社	親 泊 政 夫	〒901-2126	浦添市宮城6-21-5		
	(098)878-3576	(098)878-3847	昭和49年1月17日	9001:2000 (H15年7月14日)	
	info@nanseidc.co.jp		http://www.nanseidc.co.jp/		
南部電工 株式会社	石 川 俊 三	〒901-0305	糸満市西崎町5-6-20		
	(098)994-2607	(098)992-3026	昭和56年7月2日	9001:2000 (H14年3月28日)	
	okinawa@nanbudenkou.co.jp		http://www.nanbudenko.co.jp/		
株式会社 西原環境おきなわ	友 野 貴 康	〒900-0004	那覇市銘苅2丁目5番28号		
	(098)862-8522	(098)861-0698	平成19年4月2日		
日進電気土木 株式会社	川 満 建 助	〒900-0002	那覇市曙1-6-15		
	(098)863-2784	(098)863-2723	昭和32年5月1日		
	ndk-k@ryucom.ne.jp				
比嘉工業 株式会社	新 里 孝 夫	〒900-0015	那覇市久茂地2-24-7		
	(098)951-1534	(098)951-0723	昭和31年9月1日		
	info@higa-kogyo.jp		http://www.higa-kogyo.jp/		
光通信工業 株式会社	島 袋 剛	〒901-2131	浦添市牧港5-4-10		
	(098)878-5111	(098)870-1092	昭和45年4月1日		
	info-soumu@hikari-t.co.jp		http://www.hikari-t.co.jp/		
光電気工事 株式会社	金 城 正 司	〒901-2214	宜野湾市我如古408-1		
	(098)898-4111	(098)897-1299	昭和28年6月30日	9001:2000 (H15年10月17日)	
	yakuinshitsu@hikari-dk.co.jp		http://www.hikari-dk.co.jp		
有限会社 日向工業	宜野座 清徳	〒903-0802	那覇市首里大名町1-346		
	(098)886-2830	(098)946-5420	昭和60年7月2日		
	hyuga@nirai.ne.jp		https://hyugakogyo.com/		
マエダ電気工事 株式会社	真栄田 士郎	〒900-0025	那覇市壺川1-16-11		
	(098)853-9091	(098)853-9093	昭和38年09月01日		
	info@denkiya-no1.co.jp		http://www.denkiya-no1.co.jp/		

①地区名	②会社名	③代表者名	④郵便番号	⑤所在地	
		⑥電話番号	⑦FAX番号	⑧創業年月日	⑨ISO(取得年月日)
		⑩メールアドレス		⑪ホームページ	
〔南部地区〕	株式会社 丸石設備	石原 清正	〒901-2101	浦添市西原3-4-14	
		(098)878-2406	(098)876-3370	昭和49年1月17日	
		maruishi@vega.ocn.ne.jp			
	有限会社 三崎工業	知念 秀明	〒903-0802	那覇市首里大名1-161-1(106)	
		(098)876-2056		昭和57年9月1日	
		misakikg@nirai.ne.jp		http://w1.nirai.ne.jp/misakikg/	
	株式会社 明光電気	仲村 彰	〒900-0025	那覇市壺川1-12-3	
		(098)833-3068	(098)833-1849	昭和37年3月	
		meikou-denki@nirai.ne.jp			
	ヤシマ工業 株式会社	仲田 一郎	〒900-0033	那覇市久米2-16-25	
		(098)863-2191	(098)863-2247	昭和36年5月10日	9001:2008(H20年7月1日) 14001:2004(H20年11月10日)
		ysmoffice@yashima-kogyo.com		http://www.yashima-kogyo.com/	
株式会社 山川電気	山川 光雄	〒902-0078	那覇市識名2-15-15(101号)		
	(098)987-1420	(098)987-1418	昭和44年4月1日		
	y-soumu@yamadenki.co.jp		http://www.yamadenki.co.jp/		
株式会社 琉球エンジニア	宇久村 栄	〒901-2127	浦添市屋富祖3-33-2		
	(098)877-2146	(098)877-2365	昭和42年4月1日		
琉球通信工事 株式会社	武廣 保寿	〒902-0067	那覇市安里3-4-12		
	(098)867-4111	(098)867-4113	昭和44年6月4日	14001:1996(H14年4月12日) 9001:2000(H15年8月29日)	
	rtk-soumu@comsys.co.jp		https://www.ryutuko.co.jp/		
琉穂建設工業 株式会社	由浅 太	〒902-0075	那覇市国場907番地		
	(098)834-2082	(098)870-1774	昭和54年11月1日		
	urasoe@ryusui-k.com		http://www.ryusui-k.com/		
株式会社 りゅうせき建設	安慶名 健	〒901-2122	浦添市勢理客4丁目20番1号		
	(098)878-3388	(098)876-8202	平成11年12月22日		
			https://ryuseki-kensetsu.jp/		
株式会社 和高建設工業	喜屋 武護	〒901-0156	那覇市田原4-5-2		
	(098)852-1733	(098)858-0902	昭和44年1月1日	9001:2008(H24年4月5日) 14001:2004(H24年4月5日)	
	wako-info@wako-oki.co.jp		https://www.wako-oki.com/		
株式会社 東江電気工事	東江 清隆	〒904-0204	嘉手納町水釜6-5-18		
	(098)956-2298	(098)956-9588	昭和49年12月9日		
	info@agariendenkikouji.com		http://www.agariendenkikouji.com/		
株式会社 アメニス空調	奥浜 真潤	〒904-2174	沖縄市与儀3丁目18-18		
	(098)933-8610	(098)933-8616	平成2年11月1日		
	amenis@cyber.ocn.ne.jp		http://amenis.rdy.jp/		
有限会社 大謝名電工	山城 克己	〒901-2216	宜野湾市字佐真下40		
	(098)897-4806	(098)897-9630	昭和42年6月27日		
株式会社 おきさん	富永 進	〒904-0202	嘉手納町字屋良1022		
	(098)956-2288	(098)956-8893	昭和28年7月28日		
	kouji@okisan.co.jp		https://www.okisan1953.jp/company.php		
株式会社 沖縄エンジニア	仲本 賢一郎	〒901-2203	宜野湾市野嵩2丁目1番1号		
	(098)892-0100	(098)892-0800	平成5年10月7日		
	soumu02@oki-engineer.com		http://www.oki-engineer.com		
株式会社 機電工業	新城 昌人	〒901-2223	宜野湾市大山7-3-19		
	(098)898-6866	(098)897-6821	昭和55年5月6日		
	kiden@h5.dion.ne.jp				
株式会社 宜野湾電設	仲村 明	〒901-2205	宜野湾市赤道2-20-2		
	(098)892-4303	(098)892-4388	昭和46年10月	9001:2000(H14年10月2日)	
	soumubu@ginowandensetsu.com				
具志堅設備 株式会社	具志堅 清	〒904-2245	うるま市字赤道109番地1		
	(098)946-8620	(098)946-8621	昭和56年4月1日		
	gushiken-somu-g@isp.okinawa.jp				

①地区名	②会社名	③代表者名	④郵便番号	⑤所在地	
		⑥電話番号	⑦FAX番号	⑧創業年月日	⑨ISO (取得年月日)
		⑩メールアドレス		⑪ホームページ	

〔中部地区〕	有限会社 クラウン工業	仲 田 慎	〒904-2165	沖縄市宮里2丁目22-22	
		(098)939-4343	(098)939-4345	昭和50年7月23日	9001:2000 (H15年12月26日)
		kuraun@ii-okinawa.ne.jp		http://www.ii-okinawa.ne.jp/people/kuraun/index.html	
	三協電設 株式会社	大 城 政 明	〒904-2174	沖縄市与儀2丁目8番3号	
		(098)932-2315	(098)932-7711	昭和52年7月27日	
		sankyo-d@arion.ocn.ne.jp			
	三建設備 株式会社	宮里 真由美	〒904-0035	沖縄市南桃原4-33-3	
		(098)932-3629	(098)932-6514	昭和47年4月20日	9001:2000 (H15年12月24日)
		sanken-s@gray.plala.or.jp		https://www.sankensetsubi.com/	
	有限会社 三工電設	下 地 健 一	〒901-2221	宜野湾市伊佐三丁目9番7号	
		(098)890-7150	(098)890-7151	昭和50年7月22日	
		skd@nirai.ne.jp			
	株式会社 シーイー	名 城 辰 巳	〒901-2225	宜野湾市大謝名3-13-11	
		(098)942-8733	(098)942-9233	平成4年12月16日	
				http://www.k-ce.co.jp	
	重信電気工事 株式会社	長 嶺 禎	〒904-0012	沖縄市安慶田1-24-31	
		(098)937-2534	(098)937-7951	昭和35年6月1日	
		sdmail@shigenobu.co.jp		http://www.shigenobu.co.jp/	
	有限会社 真栄工業	真栄城 兼宜	〒904-0105	北谷町字吉原271-1	
		(098)936-1911	(098)936-2047	昭和51年6月1日	9001:2000 (H15年12月18日)
sin-ei-t@ryucom.ne.jp					
株式会社 真和電工	池 宮 拓 治	〒904-2233	うるま市字豊原578-1		
	(098)974-0202	(098)974-0627	昭和56年6月1日	9001:2000 (H17年11月16日)	
	shinwadenkou578@gmail.com				
第一工業 株式会社	上 里 幸 春	〒904-2155	沖縄市美原三丁目18番13号		
	(098)934-9801	(098)934-9802	昭和52年9月29日		
	info@1st-ind.jp		https://1st-ind.jp/		
中部電水工事 株式会社	伊 波 博 光	〒901-2201	宜野湾市新城1-4-15		
	(098)988-1291	(098)893-2527	昭和54年1月24日		
	h-chuden@mco.ne.jp				
有限会社 津城電気工事	呉 屋 賢	〒901-2413	中城村字津覇545		
	(098)895-4416	(098)895-2936	昭和54年10月20日		
株式会社 テクノ工業	新 垣 敏 哉	〒904-2172	沖縄市泡瀬2丁目8番2号		
	(098)938-0262	(098)938-0166	平成2年8月10日	9001:2008 (H22年6月09日) 14002008 (H22年6月09日)	
	techno@tune.ocn.ne.jp		http://www.technokogyo-okinawa.com/		
デルタ電気工業 株式会社	金 城 保	〒901-2214	宜野湾市我如古2-36-15		
	(098)897-0513	(098)898-6561	昭和44年7月1日	9001:2000 (H15年8月19日)	
	info@deltaoki.net				
東洋電気工事 株式会社	柴 引 健	〒904-2165	沖縄市宮里3-8-37		
	(098)937-4445	(098)937-4777	昭和41年7月1日	9001:2000 (H14年7月31日)	
	toyo@tydenki.com		http://www.tydenki.net/		
合資会社 中江電気建設	中 江 園 子	〒904-2221	うるま市字平良川149番地		
	(098)973-3380	(098)973-2770	昭和31年4月1日		
	info@naka-e-oki.co.jp				
株式会社 日本電設	下 地 晶	〒901-2226	宜野湾市嘉数2丁目10番14号		
	(098)897-4444	(098)897-1976	昭和47年5月8日		
	nichiden@thcia.ocn.ne.jp				
株式会社 比謝川電気	村 山 博 子	〒904-0203	嘉手納町字嘉手納284		
	(098)956-2253	(098)956-7904	昭和37年6月7日		
	hiden-ho@jeans.ocn.ne.jp		https://www.hijagawadenki.com/		
不二宮工業 株式会社	宮 城 剛	〒901-2203	宜野湾市野嵩2丁目2-7		
	(098)893-0446	(098)935-5771	昭和45年10月1日		
	f-k@fujimiya-k.co.jp		https://fujimiya-k.jp/		

①地区名	②会社名	③代表者名	④郵便番号	⑤所在地	
		⑥電話番号	⑦FAX番号	⑧創業年月日	⑨ISO (取得年月日)
		⑩メールアドレス		⑪ホームページ	
〔中部地区〕	有限会社ヤマウチ設備	山内 美保子	〒901-2314	北中城村字大城440-1	
		(098)935-4768	(098)935-2334	昭和61年11月14日	9001:2000 (H16年10月20日)
		yama001@m1.cosmos.ne.jp			
〔中部地区〕	株式会社 琉建工業	渡口 彦武	〒904-0203	嘉手納町字嘉手納479-4	
		(098)956-8860	(098)956-8961	昭和50年2月21日	
		office@ryuken-kogyo.co.jp	https://www.ryuken-kogyo.co.jp/		
〔中部地区〕	ワールド電気産業 有限会社	中江 太郎	〒904-0203	嘉手納町字嘉手納289-1F	
		(098)956-0008	(098)975-6178	平成7年2月22日	
〔北部地区〕	有限会社 上宏工業	外間 宏正	〒905-0411	今帰仁村字天底86	
		(0980)56-2999	(0980)56-4857	昭和63年10月11日	9001:2000 (H16年11月7日)
		uehiro@oregano.ocn.ne.jp			
〔北部地区〕	株式会社 名護電水センター	岸本 稲子	〒905-0017	名護市大中1-18-26	
		(0980)52-2813	(0980)53-6994	昭和43年9月1日	9001:2000 (H16年10月18日)
〔宮古地区〕	株式会社 朝日建設工業	狩俣 政吉	〒906-0007	宮古島市平良字東仲宗根821-10	
		(0980)72-7636	(0980)73-4378	昭和49年5月31日	
〔宮古地区〕	株式会社 川田電設産業	渡真利 剛	〒906-0012	宮古島市平良字西里1332-7	
		(0980)72-9793	(0980)72-1874	昭和47年3月25日	14001:1996 (H15年12月09日)
〔宮古地区〕	有限会社 久貝電設土木	久貝 博義	〒906-0506	宮古島市伊良部字長浜190-1	
		(0980)78-3549	(0980)78-5436	昭和42年10月	
		hk-denki@miyako-ma.jp			
〔宮古地区〕	株式会社 下崎工事社	狩俣 榮吉	〒906-0007	宮古島市平良字東仲宗根496-18	
		(0980)72-8601	(0980)72-8602	昭和40年5月10日	
〔宮古地区〕	東光電気 株式会社	洲 鎌勝彦	〒906-0304	宮古島市下地字上地361	
		(0980)76-6545	(0980)76-6329	平成28年4月	
		toko@miyako-ma.jp			
〔宮古地区〕	株式会社 パイオニア	高里 礼己	〒906-0015	宮古島市平良字久貝819-11	
		(0980)72-1526	(0980)72-8388	昭和54年9月	14001:1996 (H15年12月09日)
		m.paionia@titan.ocn.ne.jp			
〔宮古地区〕	有限会社 松宮開発	根間 松造	〒906-0013	宮古島市平良字下里1338-3	
		(0980)73-0391	(0980)73-9080	昭和56年4月1日	
		matsumiya@eagle.ocn.ne.jp			
〔宮古地区〕	株式会社 丸秀	伊良部 勝浩	〒906-0007	宮古島市平良字東仲宗根350	
		(0980)72-3396	(0980)72-9200	昭和44年4月1日	
		maruhide@mocha.ocn.ne.jp			
〔宮古地区〕	三成技建 株式会社	當山 玄吉	〒906-0012	宮古島市平良字西里895-3	
		(0980)73-1995	(0980)72-6215	昭和50年2月21日	
		minase@m1.cosmos.ne.jp			
〔宮古地区〕	有限会社 宮古電水土木	砂川 一範	〒906-0015	宮古島市平良字久貝1060-7	
		(0980)73-2651	(0980)72-1237	昭和49年	
		densui@miyako-net.ne.jp			
〔宮古地区〕	有限会社 吉田産業	伊良部 幸男	〒906-0012	宮古島市平良字西里1331-16	
		(0980)72-1661	(0980)72-4086	昭和50年1月1日	
		yosidas1@ruby.ocn.ne.jp	http://www.yoshidasangyou.com/		
〔八重山地区〕	株式会社 共和	大底 京子	〒907-0002	石垣市真栄里307番地の1	
		(0980)82-2283	(0980)82-4765	昭和43年10月1日	
		kyowa@woody.ocn.ne.jp	http://i-kyowa.com/		
〔八重山地区〕	株式会社 佐久本商会	佐久本 達	〒907-0014	石垣市新栄町50-5	
		(0980)82-5859	(0980)82-6141	昭和40年6月10日	

①地区名	②会社名	③代表者名	④郵便番号	⑤所在地	
		⑥電話番号	⑦FAX番号	⑧創業年月日	⑨ISO (取得年月日)
		⑩メールアドレス		⑪ホームページ	

〔八重山地区〕	株式会社 三光電設	粟 盛 卓	〒907-0003	石垣市字平得212	
		(0980)82-3836	(0980)83-2047	昭和46年9月11日	
	株式会社 紫電舎	新城 永一郎	〒907-0002	石垣市字真栄里375-8	
		(0980)82-4811	(0980)83-1409	昭和47年2月11日	
		siden1@ceres.ocn.ne.jp			
	有限会社 昭電工業	砂 川 一 晃	〒907-0023	石垣市字石垣1733-15	
		(0980)82-7697	(0980)83-8908	平成6年12月6日	
	株式会社 新生	生 盛 栄 治	〒907-0003	石垣市字平得90-7	
		(0980)82-3938	(0980)82-1852	昭和52年12月20日	
		sinseil1@io.ocn.ne.jp			
株式会社 砂盛工業	砂 盛 盛 栄	〒907-0014	石垣市新栄町71-3		
	(0980)82-1125	(0980)82-8731	昭和54年5月		
	sunamori@lime.ocn.ne.jp				
有限会社 東洋工業	後上里 洋一	〒907-0022	石垣市字大川1367-1		
	(0980)82-8289	(0980)82-8241	昭和57年11月29日		
有限会社 仲野電設	仲 野 雅 春	〒907-0023	石垣市字石垣731-12		
	(0980)-83-9657	(0980)-83-9636	平成10年6月15日		
	inakano-d@axel.ocn.ne.jp				
株式会社 南西工業	仲 村 公 雄	〒907-0002	石垣市真栄里245-7		
	(0980)82-2716	(0980)82-6469	昭和47年5月15日		
株式会社 日建興業	後 上 里 悟	〒907-0024	石垣市字新川2460-16		
	(0980)82-9562	(0980)83-2959	昭和37年6月26日		
株式会社 八電工	嵩 原 督	〒907-0004	石垣市字登野城1004		
	(0980)82-2825	(0980)83-0008	昭和46年1月26日		
	yaedenko@galaxy.ocn.ne.jp				
有限会社 平和建設	平 田 永 和	〒907-0002	石垣市真栄里408-6		
	(0980)82-2877	(0980)82-2653	昭和49年6月		
	heiwa@chive.ocn.ne.jp		https://heiwa7.wixsite.com/heiwa		

### 会員名簿《賛助会員》

〔賛助会員〕	株式会社 アサヒ	福 重 勉	〒900-0012	那覇市泊2丁目1番地11	
		(098)862-8111	(098)863-3044	昭和45年4月1日	
				http://www.kkasahi.co.jp/	
	株式会社 安謝鋳物商事	仲宗根 重人	〒901-2104	浦添市当山1-3-8	
		(098)877-7880	(098)876-4537	昭和48年10月30日	
	沖縄環境企画 株式会社	大 城 安 世	〒902-0074	那覇市字仲井真107	
		(098)831-9939	(098)947-3111	昭和57年8月27日	
		o_kikaku@dl.dion.ne.jp			
	沖縄ガス 株式会社	湧 川 直 明	〒900-8605	那覇市西3-13-2	
		(098)863-7730	(098)863-7748	昭和33年7月22日	
		honsya@okinawagas.co.jp		http://www.okinawagas.co.jp/	
株式会社 沖縄多久パイプ プレファブ加工センター	百 武 新 一	〒904-2234	うるま市字州崎7番地27		
	(098)921-0571	(098)921-0573	平成20年11月6日		
	otp@okinawa-tak.co.jp		http://www.okinawa-tak.co.jp/		
沖縄電力 株式会社	本 永 浩 之	〒901-2602	浦添市牧港5-2-1		
	(098)877-2341	(098)878-3842	昭和47年5月15日		

①地区名	②会社名	③代表者名	④郵便番号	⑤所在地	
		⑥電話番号	⑦FAX番号	⑧創業年月日	⑨ISO (取得年月日)
		⑩メールアドレス		⑪ホームページ	

〔賛助会員〕	沖縄ニッタン 株式会社	山里 秀夫	〒900-0001	那覇市港町2-14-4	
		(098)861-1764	(098)861-1767	昭和53年7月28日	
		onksakai@southernx.ne.jp			
	沖縄三菱電機販売 株式会社	肥後 通人	〒901-2223	宜野湾市大山7-12-1	
		(098)898-1111	(098)898-0303	昭和44年2月10日	9001:2000 (H16年1月27日)
		miyagi-akira@oki.mellife.co.jp			
	株式会社 共和電気	平敷 信行	〒900-0012	那覇市泊1丁目12番地12	
		(098)987-6235	(098)987-6236	昭和41年8月2日	
		h09@kyowa-oki.jp			
	合資会社 金城商会	金城 憲一郎	〒901-0142	那覇市字鏡水683-1	
		(098)857-8800	(098)858-7078	昭和27年1月30日	
	株式会社 金城電気商会	金城 寛	〒900-0012	那覇市泊1-6-7	
		(098)867-3166	(098)867-3928	昭和28年4月	
		nds@kinjo.co.jp		https://www.kds.okinawa/	
新光産業 株式会社	新里 正志	〒900-0036	那覇市辻1丁目17-1		
	(098)863-0803	(098)863-5992	昭和51年9月14日		
			http://www.shinkousangyou.jp		
株式会社 大成	吉田 直樹	〒901-1203	南城市大里字大城538-8		
	(098)946-8383	(098)946-8385	昭和55年10月20日		
			http://taisei.okinawa/		
ダイキンHVACソリューション沖縄(株)	岸本 直也	〒901-0155	那覇市金城5-3-4		
	(098)859-4154	(098)859-4163	平成元年11月28日		
			https://www.ac.daikin.co.jp/group/dkhvac-okinawa		
株式会社 東洋商会	仲里 敦雄	〒900-0036	那覇市西2-8-1		
	(098)861-1040	(098)868-9801	昭和37年11月12日		
長嶺電機 株式会社	長嶺 義貢	〒901-2134	浦添市字港川512-28		
	(098)878-2121	(098)878-7222	昭和41年3月5日		
	ndc_ei@hotmail.com				
光電気産業 株式会社	與那嶺 政宏	〒901-2131	浦添市牧港5-4-10 光牧港BLD		
	(098)877-5211	098-878-5215	昭和45年10月1日		
福山建設 株式会社	湧川 博正	〒901-2131	浦添市牧港四丁目14番17号(福山商事ビル3F)		
	(098)943-6671	(098)943-6672	令和4年4月1日		
	katsuo.t@fukukencorp.jp				
(株)フロンティアウェーブ	小波津 隆二	〒901-0306	糸満市西崎町5丁目12-1		
	(098)994-4620	(098)994-4629	平成29年10月2日		
	info@frontier-wave.jp		https://www.frontier-wave.jp/		
マル中産業 株式会社	吉田 勇	〒900-0002	那覇市曙2-25-24		
	(098)861-1661	(098)863-3514	昭和39年12月8日		
	marui@oki-maruisangyou.co.jp		http://www.oki-maruisangyou.co.jp/		
株式会社 丸福	狩俣 康成	〒901-2122	浦添市勢理客3-3-13		
	(098)878-8412	(098)876-5776	昭和25年4月1日		
株式会社 ゆにてっくす	石原 貴史	〒903-0116	西原町字幸地1081		
	(098)944-6608	(098)944-6609	昭和57年2月22日		
	info@oki-unitex.jp		http://www.unitex.okinawa		

# 事務局日誌

(令和7年8月～令和8年1月迄)

## 【8月】

- 1日 (金) ・ 地域別産学懇談会 (宜保)  
・ 電気使用安全月間広報パレード  
てだこホール
- 4日 (月) ・ 定例執行部会 (11)  
・ 地域別産学懇談会 (宮古)
- 5日 (火) ・ 地域別産学懇談会 (八重山)
- 7日 (木) ・ 県選出国会議員との意見交換会 (親泊・宜保)
- 13日 (水) ・ 寄付金贈呈式 沖縄肢体不自由児協会 (執行部)
- 18日 (月) ・ 定例執行部会 (12)  
・ 沖縄総合事務局 (営繕) との意見交換会
- 20日 (水) ・ 日本電気協会第1回選定委員会 (親泊)  
・ 第7回おきなわ建設フェスタ幹事会 (宜保)
- 21日 (木) ・ 第680回電管グリーン 琉球ゴルフ倶楽部
- 22日 (金) ・ 県本庁舎改修工事意見交換会
- 25日 (月) ・ 工業高校担当教諭との意見交換会  
・ 担い手確保・育成委員会
- 26日 (火) ・ 日空衛九州沖縄支部第2回役員会 (委任)
- 29日 (金) ・ 定例執行部会 (13)

## 【9月】

- 2日 (火) ・ 第2回安全対策委員会
- 4日 (木) ・ 日空衛事務局代表者会議 品川プリンスホテル (宜保・知念)
- 8日 (月) ・ 沖縄防衛局調達部長表敬訪問 (執行部)
- 10日 (水) ・ PPP事業勉強会 産業支援センター (宜保)
- 12日 (金) ・ 県道路管理課との意見交換会
- 16日 (火) ・ 定例執行部会 (14)  
・ 沖縄建設新聞取締役会 (委任)
- 17日 (水) ・ 日空衛理事会 (仲田)
- 18日 (木) ・ 第681回電管グリーン 琉球ゴルフ倶楽部
- 22日 (月) ・ 建産連第2回役員会 (仲田・宜保)
- 24日 (水) ・ 青年部幹事会  
・ おきなわ建設フェスタ第4回幹事会 (宜保)
- 30日 (火) ・ おきぎん経済研究所ヒアリング (宜保・知念)

## 【10月】

- 2日 (木) ・ 建災防全国労働災害防止大会 兵庫 (仲田・親泊)

- 3日 (金) ・ 平和祈念公園清掃ボランティア  
・ 建災防全国労働災害防止大会 大阪・関西万博 (仲田・親泊)  
・ 昇降機定期報告団体連絡会議 東京 (宜保・中村)

- 6日 (月) ・ 定例執行部会 (15)  
・ 防衛局設備課長古賀氏来会 (宜保・知念)

- 7日 (火) ・ 電設協理事会 ホテルニューオータニ東京 (親泊)  
・ 運営・広報委員会

- 9日 (木) ・ 建設物価懇談会 (宜保)  
・ 青年部第11回チャリティゴルフ大会 沖縄ロイヤルゴルフ

- 10日 (金) ・ おきなわ建設フェスタ第5回幹事会及び出展者説明会 (宜保)  
・ 第一工業(株)新社屋オープニングイベント (知念)

- 14日 (火) ・ 定例執行部会 (16)  
・ 理事会

- 16日 (木) ・ 第682回電管グリーン 沖縄カンントリーゴルフクラブ

- 17日 (金) ・ CADWell Tfas 体験セミナー  
・ おきなわ建設フェスタ実行委員会

- 20日 (月) ・ 定例執行部会 (17)  
・ 建設雇用改善事業推進会議 (仲田・宜保)

- 21日 (火) ・ 青年部チャリティゴルフ大会寄付金贈呈式 (知念)

- 23日 (木) ・ 那覇市環境政策課PCB担当者来会 (宜保・知念)

- 24日 (金) ・ 沖縄局松下技術管理官来会 (宜保・知念)  
・ 労務費調査説明会  
・ 建設フェスタ 高所作業車オペレーター会議

- 29日 (水) ・ 青年部幹事会  
・ 沖縄局との意見交換

- 30日 (木) ・ 日空衛全国会議 富山開催 (仲田)  
・ 那覇工業高校電気科松田氏来会  
・ 基幹技能者講習WEB対応オンライン説明 (知念)

- 31日 (金) ・ 台湾視察研修オリエンテーション

## 【11月】

- 4日 (火) ・ 定例執行部会 (18)
- 5日 (水) ・ 沖縄県土木建築部との意見交換会
- 6日 (木) ・ 電設協会員大会 広島 (親泊・金城)
- 7日 (金) ・ 叙勲・褒章等合同祝賀会事務担当打ち合わせ

- 9日 (日) ・ 第7回おきなわ建設フェスタ 県総合運動公園

- 10日 (月) ・ 沖縄建設新聞第4回取締役会

- 12日 (水) ・ 台湾視察研修

- 13日 (木) ・ 台湾視察研修

- 14日(金)・台湾視察研修  
 19日(水)・日空衛理事会 空衛会館(仲田)  
 ・電気保安功労者表彰式・祝賀会(宜保)  
 20日(木)・第683回電管グリーン 那覇ゴルフ倶楽部  
 21日(金)・日本電気協会第2回選定委員会(親泊オンライン)  
 25日(火)・沖縄建設新聞 第63期株主総会(仲田)  
 ・定例執行部会(19)  
 26日(水)・建設産業ビジョン ヒアリング しまたて協会来会(宜保)  
 ・沖縄労働局長との懇親会(建災防)(仲田・親泊)  
 27日(木)・職業能力開発協会第2回役員会(委任)  
 28日(金)・県総ボランティア清掃 県総キャンプ場  
 29日(土)・設備士資格試験  
 30日(日)・設備士資格試験

【12月】

- 1日(月)・定例執行部会(20)  
 ・執行部忘年会  
 2日(火)・建産連第3回役員会(仲田・宜保)  
 ・沖縄県工業連合会忘年会(仲田・宜保)  
 8日(月)・秋の叙勲・褒章等合同祝賀会  
 9日(火)・定例執行部会(21)  
 ・理事会  
 10日(水)・第43回安全衛生大会  
 ・下地米蔵氏叙勲祝賀会  
 11日(木)・高校生現場見学会(美里工業電気科) 琉銀本店  
 ・高校生現場見学会(美里工業電気科) 琉銀本店

- 12日(金)・高校生現場見学会(美里工業設備工業科) 琉銀本店  
 17日(水)・青年部忘年会  
 18日(木)・第684回電管グリーン 那覇ゴルフ倶楽部  
 19日(金)・小波津聰氏 叙勲受章沖縄県土建部長表敬  
 ・沖縄防衛局入札・契約制度説明会  
 23日(火)・定例執行部会(22)  
 24日(水)・職業講話(南部工業高校)  
 25日(木)・新春会長対談  
 26日(金)・仕事納め

【1月】

- 5日(月)・那覇市名刺交換会  
 ・経済団体合同新年宴会  
 6日(火)・沖建協新春の集い ナハテラス(仲田・宜保)  
 8日(木)・執行部新年挨拶まわり  
 ・建設産業ビジョン実施団体会議(宜保)  
 ・建築関係団体新年会(仲田・宜保)  
 15日(木)・第685回電管グリーン 沖縄カントリークラブ  
 16日(金)・青年部幹事会  
 19日(月)・定例執行部会(23)  
 21日(水)・日空衛理事会(仲田)  
 ・令和8年沖縄県赤十字大会表彰式(金城)  
 22日(木)・令和8年新年賀詞交歓会  
 23日(金)・電気安全幹事会(宜保)  
 26日(月)・改正建設業法説明会(仲田・宜保)

# 電管協会報

令和8年(2026) 2月15日発行 第86号

## 運営・広報委員会

委員長 福田 郁絵

発行所／(一社)沖縄県電気管工事業協会  
 発行人／仲田 一郎

副委員長 久高 将泰 委員 松島 寛行  
 委員 奥原 聡 委員 野原 武  
 専務理事 宜保 勝 事務局 知念 徹

〒900-0036 沖縄県那覇市西3-4-5  
 電話 098-868-8400 FAX 098-868-8224

嘱託(株)沖縄建設新聞編集部

編集協力／(株)沖縄建設新聞 〒900-0012 那覇市泊3-5-6  
 電話(098)867-1290／FAX(098)868-1275

印刷／大里印刷(有)  
 電話(098)945-0557

# 賛助会員を活用しよう

企業名・問い合わせ先	工種	用途	製品名
<b>長嶺電機(株)</b> TEL:098-878-2121 E-mail:ndf_ei@hotmail.com	電	受配電設備	配電盤・制御盤・分電盤
	その他	金属加工	板金加工・各種収納ボックス
	その他	金属加工	アクリル板・パーテーション
<b>沖縄環境企画(株)</b> TEL:098-831-9939 E-mail:o_kikaku@dl.dion.ne.jp	その他	ろ過装置	標準型自動ろ過装置FT-0A0/0E0
	その他	軟水装置	全自動軟水装置SAA-K/SAB-K
	その他	微酸性電解水生成装置	ピュアスター（次亜塩素酸を含む微酸性電解水生成装置）
<b>沖縄三菱電機販売(株)</b> TEL:098-898-1111 E-mail:miyagi-akira@oki.mellifr.co.jp	管	空調機器	ルームエアコン霧ヶ峰・パッケージエアコンミスタースリム
	管	全熱交換器・換気扇	ロスナイ・ヘルスエアー・DC換気扇
	電	照明器具	LED照明MILIE（My・GTシリーズ他）
	電	住設品・家電品	エコキュート・IHクッキングヒーター・その他
<b>沖縄ガス(株)</b> TEL:098-863-7730（代表） TEL:098-863-7750（ショールーム）	その他	でんきもガスも！ 沖縄ガス	天然ガス・LPガス・バイオガス・水溶性天然ガス・沖縄ガスのでんき
<b>(株)ゆにてっくす</b> TEL:098-944-6608 E-mail:info@oki-unitex.jp	その他	防錆・防触処理 〔沖縄のサビと闘い、 環境を守る企業〕	防錆塗装 〔空調室外機・冷凍室外機・バルクタンク 給湯器・車輛・電子防錆システム・ その他室外設置型の機器類〕
<b>(株)大成</b> TEL:098-946-8383 FAX:098-946-8385	電	受変電設備	分電盤・配電盤・制御盤
	その他	金属加工	板金加工によるは筐体制作
<b>(株)沖縄多久パイププレファブ 加工センター</b> TEL:098-921-0571 FAX:098-921-0573 E-mail:otp@okinawa-tak.co.jp	管	給水・給湯・消火 配管	タスカルジョイント（SUS304製）
	管	上水道・農水等	水道用塗装管（JWWA K135対応）
	管	上水道・農水等	水道用耐震機能タスカルジョイント
	管	機械設備・上下水 等全般	OTPプレファブ加工管（県産品）
<b>(株)金城電気商会</b> TEL:098-867-3166 FAX:098-867-3928	その他	電気資材卸売業	電設資材・照明器具・空調機器販売
<b>新光産業(株)</b> TEL:098-863-0803 FAX:098-863-5992	その他	電気資材卸売業	電気資材・照明器具・空調機器販売

## お知らせ

賛助会員の皆様の事業をより広く知っていただき、活用していただくことを目的に「賛助会員を活用しよう」のPRページを設けました。

製品等の紹介、自社PRなどに活用いただけますので、詳しくは協会までお問い合わせください。







**信頼と技術で  
快適な社会づくりに貢献する**

私たちの培ってきた信頼と技術で、  
このふるさとを豊かにしたい。  
暮らしの礎となる様々な工事を通じ、社会を支える。  
これからも沖縄の未来のために貢献できる  
企業を目指します。



建築工事

モノレール保守点検

変電工事

通信基地局建設工事

配電工事

photoFOTOTECA

建築・電気・機械設備工事

総合建設業  
**株式会社 沖電工**

〒900-0025 沖縄県那覇市壺川 2-11-11  
TEL: 098-835-9888 FAX: 098-835-3627





株式会社フロンティアウェーブ

Frontier wave



電気で沖縄をSwitchする  
Frontier Waveが変えていく

〒901-0306  
糸満市西崎町5丁目12番地1  
TEL 098-994-4620  
代表取締役社長 小波津 隆二



自動制御システム(PLC) / 設計・製造  
QB式配電盤, 制御盤, 分電盤 / 企画・設計・製造

残り続けたのには訳がある。

私たちは、創業から70年以上、地元の方々が安心して暮らせるよう地域のインフラを支え、安定成長を続ける「永山組」です。設備工事は人の手が欠かせません。だから私たちの仕事は将来もなくなることはありません。

 株式会社 永山組

本社 那覇市港町2丁目14番7号  
TEL 098-867-3387  
FAX 098-867-3832

